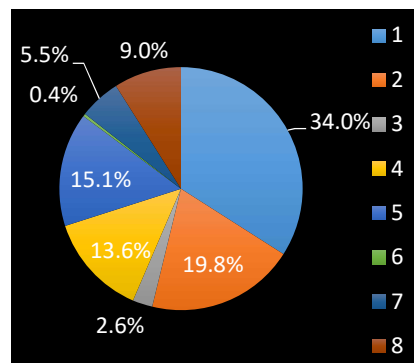


北海道

2017年度 42,846TJ 対前年度比 111.5%

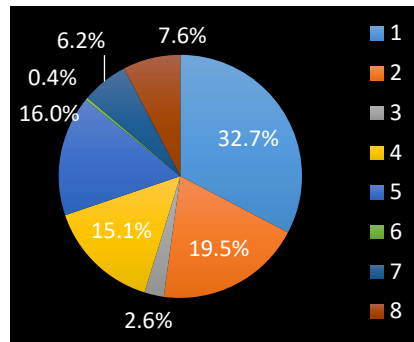


再生可能エネルギー供給状況

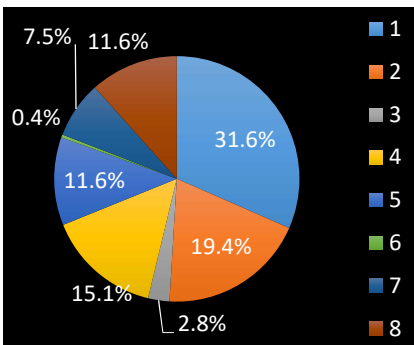
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 38,429TJ 対前年度比 108.9%



2015年度 35,304TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	14,584TJ	14	39	46	34.0%
○ 2 風力発電	8,480TJ	2	14	24	19.8%
○ 3 地熱発電	1,128TJ	5	6	8	2.6%
○ 4 小水力発電	5,827TJ	7	28	40	13.6%
○ 5 バイオマス発電	6,474TJ	4	17	44	15.1%
6 太陽熱利用	151TJ	40	47	47	0.4%
7 地熱利用	2,345TJ	2	16	29	5.5%
8.バイオマス熱利用	3,856TJ	2	20	43	9.0%
合計(供給量)	42,846TJ	2			
再生可能エネルギー自給率			9.96%	再エネ自給率ランク 38	
食料自給率			195.9%	食料自給率ランク 1	
供給密度(TJ/km ²)			0.547	供給密度ランク 47	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				430,005TJ	
区域面積				78,358km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	苫前郡苫前町	503.2%	1	江別市	9.407	☆1	河西郡更別村	6835.9%
☆2	檜山郡上ノ国町	257.5%	2	檜山郡江差町	5.958	☆2	斜里郡清里町	5392.2%
☆3	有珠郡壮瞥町	210.7%	3	室蘭市	5.617	☆3	斜里郡小清水町	5234.6%
☆4	磯谷郡蘭越町	192.0%	4	勇払郡安平町	4.846	☆4	河東郡士幌町	4196.9%
☆5	天塩郡幌延町	183.8%	5	苫小牧市	4.343	☆5	網走郡大空町	3688.9%
☆6	勇払郡安平町	177.0%	6	寿都郡寿都町	4.001	☆6	中川郡豊頃町	3610.7%
☆7	虻田郡二セコ町	151.5%	7	虻田郡二セコ町	3.600	☆7	河西郡中札内村	3181.2%
☆8	寿都郡寿都町	149.9%	8	茅部郡森町	3.518	☆8	十勝郡浦幌町	2815.4%
☆9	中川郡豊頃町	112.9%	9	有珠郡壮瞥町	3.329	☆9	河東郡鹿追町	2474.4%
☆10	茅部郡森町	110.0%	10	稚内市	3.089	☆10	石狩郡新篠津村	2430.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

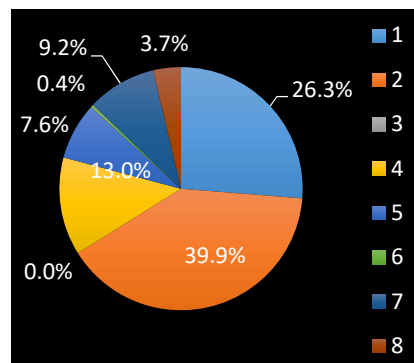
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

青森県

2017年度 23,752TJ 対前年度比 110.6%

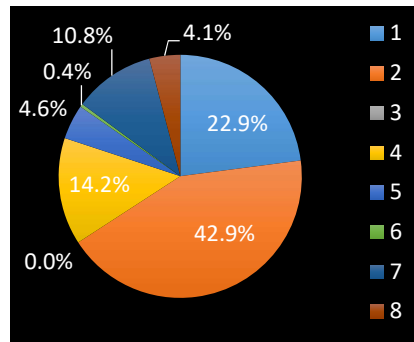


再生可能エネルギー供給状況

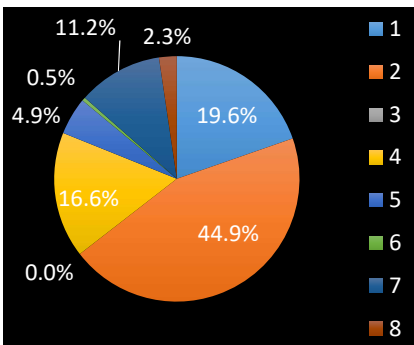
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 21,480TJ 対前年度比 116.6%



2015年度 18,419TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6,235TJ	34	34	40	26.3%
◎ 2 風力発電	9,472TJ	1	2	1	39.9%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
○ 4 小水力発電	3,086TJ	16	20	25	13.0%
5 バイオマス発電	1,806TJ	19	14	32	7.6%
6 太陽熱利用	84TJ	45	46	44	0.4%
7 地熱利用	2,194TJ	3	2	2	9.2%
8. バイオマス熱利用	875TJ	30	22	33	3.7%
合計(供給量)	23,752TJ	20			
再生可能エネルギー自給率			22.65%	再エネ自給率ランク	17
食料自給率			111.7%	食料自給率ランク	4
供給密度(TJ/km ²)			2.462	供給密度ランク	29
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				104,877TJ	
区域面積				9,646km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下北郡東通村	527.5%	1	八戸市	6.494	☆1	つがる市	580.7%
☆2	上北郡六ヶ所村	399.7%	2	三沢市	4.434	☆2	東津軽郡蓬田村	530.1%
☆3	上北郡横浜町	366.1%	3	西津軽郡深浦町	3.153	☆3	北津軽郡中泊町	435.6%
☆4	西津軽郡深浦町	230.0%	4	青森市	2.546	☆4	東津軽郡平内町	371.9%
☆5	上北郡野辺地町	118.2%	5	平川市	2.408	☆5	北津軽郡鶴田町	337.3%
6	下北郡大間町	94.5%	6	南津軽郡藤崎町	2.397	☆6	北津軽郡板柳町	303.4%
7	上北郡七戸町	83.9%	7	南津軽郡田舎館村	2.087	☆7	上北郡横浜町	299.8%
8	上北郡六戸町	81.8%	8	五所川原市	1.752	☆8	三戸郡新郷村	280.7%
9	西津軽郡鯉ヶ沢町	41.4%	9	十和田市	1.156	☆9	南津軽郡田舎館村	273.9%
10	平川市	38.3%	10	弘前市	1.021	☆10	南津軽郡藤崎町	241.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岩手県

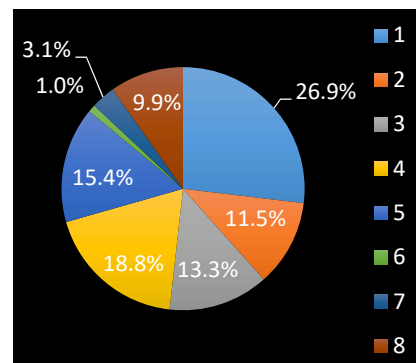
2017年度 19,737TJ 対前年度比 112.6%

再生可能エネルギー供給状況

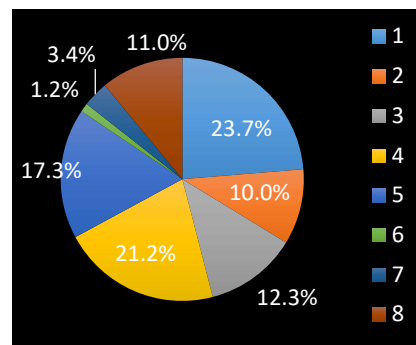
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

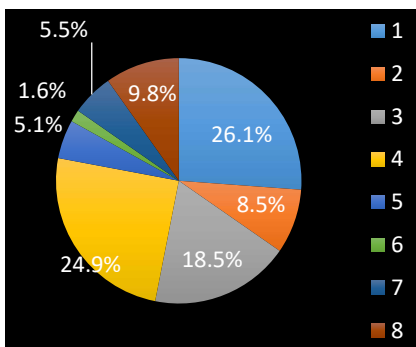
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	5,312TJ	36	33	43	26.9%
○ 2 風力発電	2,273TJ	9	7	20	11.5%
○ 3 地熱発電	2,629TJ	3	3	4	13.3%
○ 4 小水力発電	3,712TJ	12	13	30	18.8%
○ 5 バイオマス発電	3,040TJ	12	5	28	15.4%
6 太陽熱利用	204TJ	38	35	43	1.0%
7 地熱利用	621TJ	12	11	23	3.1%
8.バイオマス熱利用	1,945TJ	10	4	28	9.9%
合計(供給量)	19,737TJ	26			
再生可能エネルギー自給率			22.44%	再エネ自給率ランク	18
食料自給率			93.5%	食料自給率ランク	6
供給密度(TJ/km ²)			1.292	供給密度ランク	44
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				87,949TJ	
区域面積				15,275km ²	



2016年度 17,521TJ 対前年度比 117.9%



2015年度 14,855TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	九戸郡野田村	384.7%	1	九戸郡野田村	10.628	☆1	胆沢郡金ヶ崎町	299.9%
☆2	岩手郡雫石町	222.3%	2	紫波郡矢巾町	5.695	☆2	岩手郡雫石町	239.6%
☆3	二戸郡一戸町	162.6%	3	二戸郡一戸町	5.375	☆3	和賀郡西和賀町	235.2%
☆4	岩手郡葛巻町	143.7%	4	岩手郡雫石町	4.369	☆4	八幡平市	208.8%
☆5	八幡平市	100.3%	5	滝沢市	2.160	☆5	岩手郡葛巻町	199.1%
6	下閉伊郡岩泉町	93.8%	6	上閉伊郡大槌町	2.031	☆6	紫波郡紫波町	178.1%
7	上閉伊郡大槌町	60.9%	7	西磐井郡平泉町	1.931	☆7	奥州市	172.1%
8	九戸郡洋野町	51.9%	8	八幡平市	1.854	☆8	岩手郡岩手町	157.6%
9	気仙郡住田町	44.6%	9	釜石市	1.659	☆9	花巻市	155.7%
10	遠野市	39.4%	10	九戸郡洋野町	1.496	☆10	西磐井郡平泉町	154.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

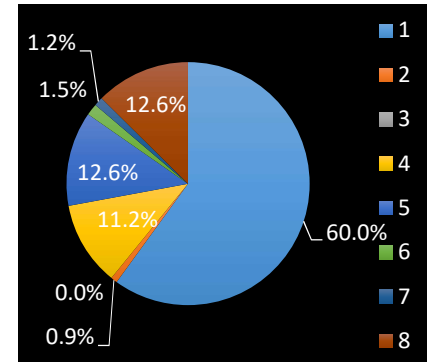
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮城県

2017年度 17,161TJ 対前年度比 118.2%

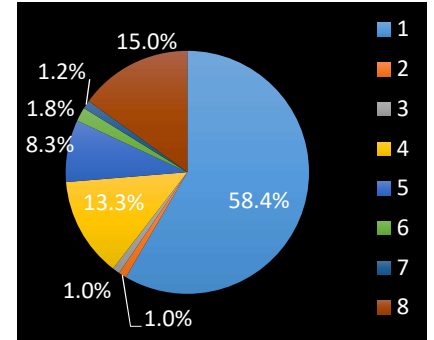
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

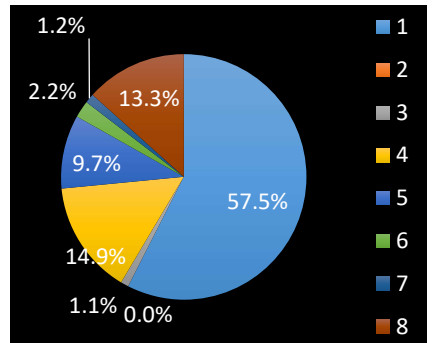


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 14,522TJ 対前年度比 113.2%



2015年度 12,824TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	10,298TJ	22	29	30	60.0%
2 風力発電	147TJ	31	32	32	0.9%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
○ 4 小水力発電	1,928TJ	26	27	28	11.2%
○ 5 バイオマス発電	2,158TJ	17	16	15	12.6%
6 太陽熱利用	264TJ	37	37	37	1.5%
7 地熱利用	207TJ	25	26	30	1.2%
○ 8 バイオマス熱利用	2,159TJ	8	11	11	12.6%
合計(供給量)	17,161TJ	28			
再生可能エネルギー自給率			12.59%	再エネ自給率ランク 30	
食料自給率			65.2%	食料自給率ランク 12	
供給密度(TJ/km ²)			2.357	供給密度ランク 32	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				136,330TJ	
区域面積				7,282km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	刈田郡七ヶ宿町	261.1%	1	岩沼市	9.803	☆1	加美郡色麻町	431.7%
☆2	刈田郡蔵王町	106.2%	2	多賀城市	7.598	☆2	牡鹿郡女川町	321.1%
3	黒川郡大郷町	73.5%	3	塩竈市	7.113	☆3	遠田郡美里町	281.5%
4	亶理郡山元町	53.2%	4	名取市	6.146	☆4	栗原市	273.0%
5	伊具郡丸森町	47.1%	5	宮城郡七ヶ浜町	4.989	☆5	登米市	271.3%
6	白石市	43.4%	6	石巻市	4.664	☆6	黒川郡大郷町	267.5%
7	黒川郡大衡村	41.9%	7	刈田郡蔵王町	4.637	☆7	加美郡加美町	257.2%
8	栗原市	35.0%	8	亶理郡山元町	4.346	☆8	遠田郡涌谷町	235.5%
9	石巻市	32.2%	9	仙台市	4.086	☆9	黒川郡大衡村	208.4%
10	加美郡色麻町	31.5%	10	富谷市	3.660	☆10	刈田郡七ヶ宿町	177.7%

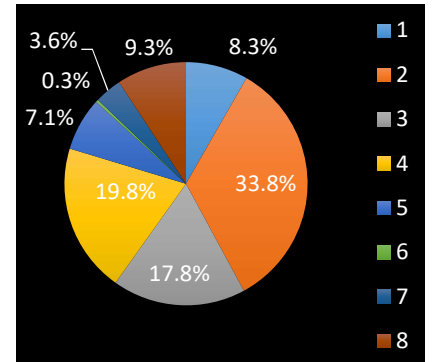
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

秋田県

2017年度 24,975TJ 対前年度比 101.6%



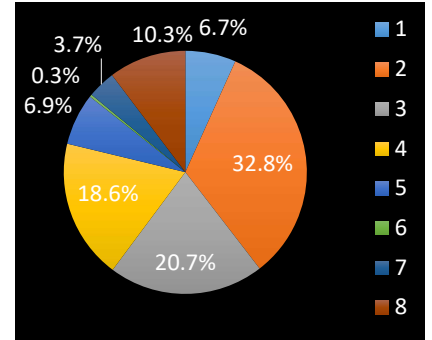
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

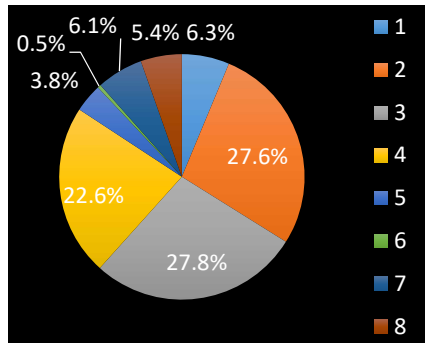
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
1 太陽光発電	2,069TJ	45	43	47	8.3%
◎ 2 風力発電	8,444TJ	3	1	2	33.8%
○ 3 地熱発電	4,433TJ	2	2	2	17.8%
○ 4 小水力発電	4,950TJ	9	3	16	19.8%
5 バイオマス発電	1,774TJ	21	9	35	7.1%
6 太陽熱利用	81TJ	46	43	46	0.3%
7 地熱利用	901TJ	9	4	15	3.6%
8.バイオマス熱利用	2,323TJ	7	2	21	9.3%
合計(供給量)	24,975TJ	17			
再生可能エネルギー自給率			34.35%	再エネ自給率ランク	3
食料自給率			176.6%	食料自給率ランク	2
供給密度(TJ/km ²)			2.150	供給密度ランク	35
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				72,705TJ	
区域面積				11,616km ²	

2016年度 24,573TJ 対前年度比 129.9%



2015年度 18,913TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	鹿角市	222.6%	1	鹿角市	6.513	☆1	南秋田郡大潟村	6713.9%
☆2	にかほ市	108.7%	2	にかほ市	6.428	☆2	仙北郡美郷町	463.0%
3	山本郡三種町	90.6%	3	能代市	5.569	☆3	山本郡三種町	429.6%
4	由利本荘市	67.9%	4	潟上市	5.462	☆4	南秋田郡井川町	392.1%
5	仙北市	64.6%	5	男鹿市	5.313	☆5	山本郡八峰町	336.8%
6	湯沢市	62.7%	6	秋田市	4.112	☆6	大仙市	319.3%
7	男鹿市	58.6%	7	山本郡三種町	3.337	☆7	雄勝郡羽後町	306.6%
8	能代市	53.7%	8	由利本荘市	2.839	☆8	南秋田郡五城目町	256.6%
9	雄勝郡東成瀬村	45.0%	9	湯沢市	2.386	☆9	横手市	250.9%
10	北秋田市	29.8%	10	仙北市	1.164	☆10	山本郡藤里町	250.4%

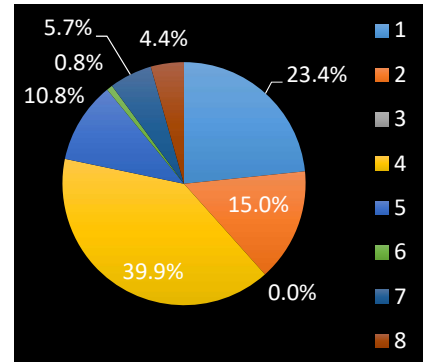
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山形県

2017年度 8,444TJ 対前年度比 115.3%

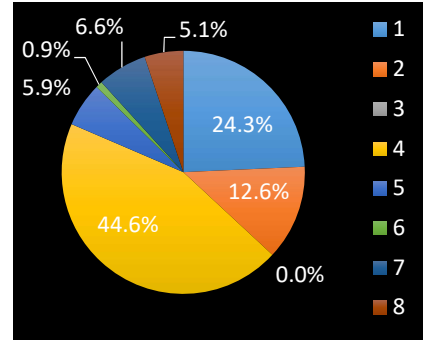


再生可能エネルギー供給状況

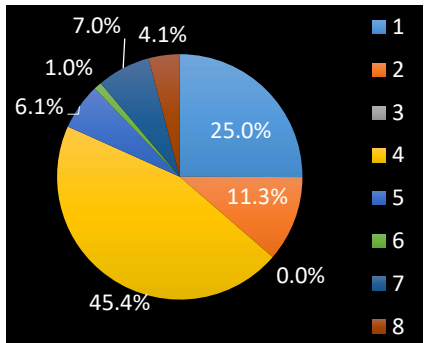
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 7,326TJ 対前年度比 103.2%



2015年度 7,099TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	1,973TJ	46	42	45	23.4%
○ 2 風力発電	1,268TJ	15	15	21	15.0%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
◎ 4 小水力発電	3,368TJ	14	12	22	39.9%
○ 5 バイオマス発電	915TJ	35	21	43	10.8%
6 太陽熱利用	66TJ	47	45	45	0.8%
7 地熱利用	481TJ	15	10	22	5.7%
8.バイオマス熱利用	372TJ	42	34	45	4.4%
合計(供給量)	8,444TJ	44			
再生可能エネルギー自給率			12.50%	再エネ自給率ランク	31
食料自給率			129.3%	食料自給率ランク	3
供給密度(TJ/km ²)			0.906	供給密度ランク	46
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				67,560TJ	
区域面積				9,323km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西村山郡西川町	216.6%	1	飽海郡遊佐町	3.534	☆1	最上郡鮭川村	555.3%
☆2	飽海郡遊佐町	113.4%	2	酒田市	3.090	☆2	東田川郡三川町	465.4%
☆3	西村山郡朝日町	107.4%	3	西村山郡朝日町	1.724	☆3	東置賜郡川西町	451.0%
☆4	最上郡大蔵村	105.9%	4	西村山郡西川町	1.480	☆4	東田川郡庄内町	420.5%
5	最上郡最上町	32.0%	5	山形市	1.469	☆5	西置賜郡飯豊町	380.5%
6	酒田市	27.8%	6	天童市	1.465	☆6	最上郡戸沢村	374.4%
7	最上郡金山町	25.2%	7	米沢市	1.349	☆7	最上郡金山町	358.0%
8	鶴岡市	21.5%	8	鶴岡市	1.263	☆8	尾花沢市	351.3%
9	東置賜郡高畠町	17.6%	9	東置賜郡高畠町	1.022	☆9	最上郡大蔵村	334.2%
10	村山市	14.4%	10	最上郡大蔵村	0.871	☆10	最上郡舟形町	313.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

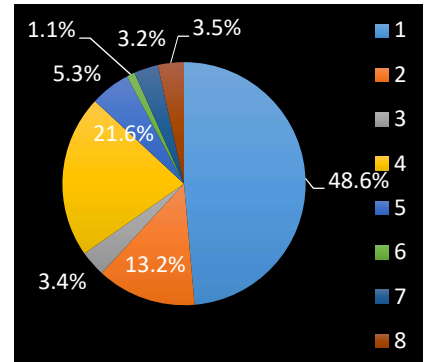
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福島県

2017年度 28,765TJ 対前年度比 115.2%



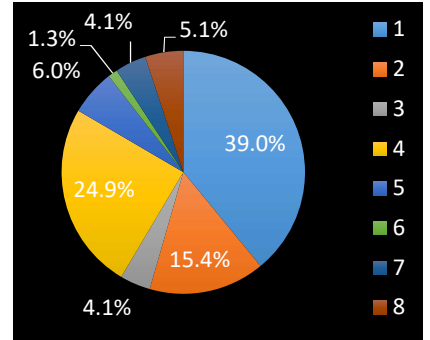
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

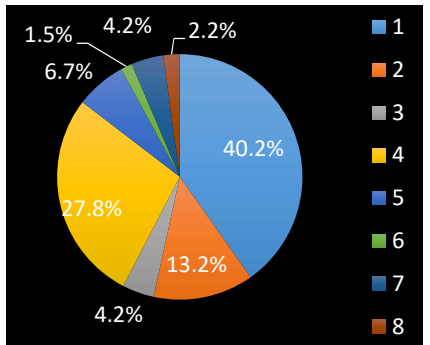
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13,986TJ	17	14	35	48.6%
○ 2 風力発電	3,809TJ	5	5	12	13.2%
3 地熱発電	976TJ	6	5	5	3.4%
◎ 4 小水力発電	6,224TJ	6	9	15	21.6%
5 バイオマス発電	1,531TJ	24	22	40	5.3%
6 太陽熱利用	319TJ	34	32	40	1.1%
7 地熱利用	919TJ	8	8	17	3.2%
8.バイオマス熱利用	1,002TJ	25	21	38	3.5%
合計(供給量)	28,765TJ	13			
再生可能エネルギー自給率			24.94%	再エネ自給率ランク	10
食料自給率			69.6%	食料自給率ランク	10
供給密度(TJ/km ²)			2.087	供給密度ランク	36
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				115,354TJ	
区域面積				13,784km ²	

2016年度 24,967TJ 対前年度比 111.6%



2015年度 22,381TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	河沼郡柳津町	505.1%	1	双葉郡富岡町	11.224	☆1	河沼郡湯川村	591.3%
☆2	南会津郡下郷町	325.9%	2	西白河郡矢吹町	9.252	☆2	河沼郡会津坂下町	324.3%
☆3	双葉郡川内村	155.7%	3	岩瀬郡鏡石町	6.848	☆3	耶麻郡猪苗代町	298.7%
☆4	田村市	113.7%	4	白河市	5.674	☆4	大沼郡会津美里町	293.3%
5	石川郡浅川町	82.4%	5	河沼郡柳津町	5.625	☆5	岩瀬郡天栄村	256.3%
6	石川郡古殿町	70.8%	6	石川郡浅川町	5.398	☆6	大沼郡昭和村	253.5%
7	岩瀬郡天栄村	70.6%	7	郡山市	4.752	☆7	耶麻郡磐梯町	232.0%
8	西白河郡矢吹町	60.2%	8	相馬市	4.609	☆8	喜多方市	229.7%
9	南相馬市	48.4%	9	南相馬市	4.269	☆9	西白河郡泉崎村	215.4%
10	白河市	48.2%	10	田村市	4.268	☆10	西白河郡中島村	213.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 2011年3月の東京電力福島第一原発事故による避難指示区域となり、避難のために世帯数が事故前の3分の1以下になっている7つの町村(富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、楢葉町)は、エネルギー自給率・食料自給率推計の対象外としています。なお、これらの町村の再生可能エネルギー供給量推計は実施し、県全体の供給量に加えるとともに、供給密度推計を行っています。

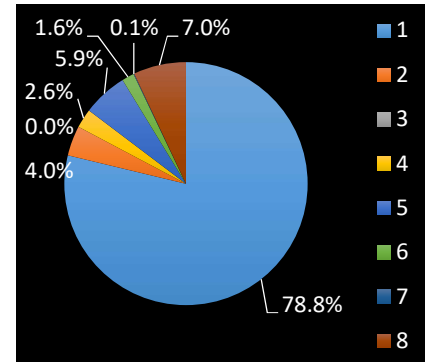
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

茨城県

2017年度 43,927TJ 対前年度比 116.8%

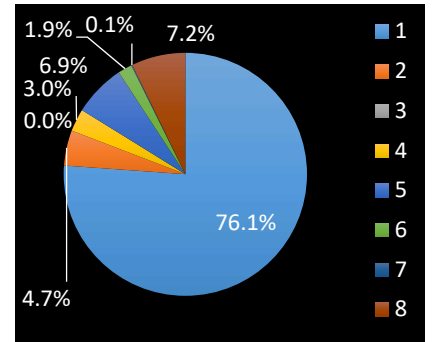
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

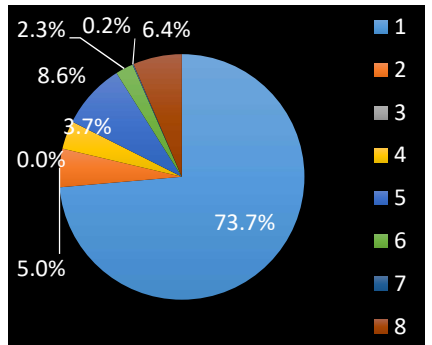


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 37,601TJ 対前年度比 126.5%



2015年度 29,730TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	34,599TJ	1	4	2	78.8%
2 風力発電	1,742TJ	13	19	11	4.0%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	1,135TJ	33	34	34	2.6%
5 バイオマス発電	2,611TJ	16	20	13	5.9%
6 太陽熱利用	714TJ	21	29	18	1.6%
7 地熱利用	48TJ	38	37	39	0.1%
8.バイオマス熱利用	3,079TJ	3	10	3	7.0%
合計(供給量)	43,927TJ	1			
再生可能エネルギー自給率			23.78%	再エネ自給率ランク	13
食料自給率			68.9%	食料自給率ランク	11
供給密度(TJ/km ²)			7.204	供給密度ランク	5
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				184,691TJ	
区域面積				6,097km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	神栖市	77.3%	1	神栖市	38.565	☆1	稲敷郡河内町	438.4%
2	行方市	74.5%	2	水戸市	13.284	☆2	鉾田市	338.5%
3	鉾田市	64.5%	3	牛久市	12.561	☆3	行方市	297.8%
4	桜川市	62.3%	4	ひたちなか市	12.346	☆4	稲敷市	267.4%
5	稲敷市	55.1%	5	鹿嶋市	12.028	☆5	結城郡八千代町	216.5%
6	久慈郡大子町	55.0%	6	守谷市	10.634	☆6	北茨城市	215.3%
7	北茨城市	53.7%	7	つくば市	9.634	☆7	東茨城郡茨城町	183.7%
8	小美玉市	47.8%	8	稲敷郡阿見町	9.291	☆8	神栖市	166.6%
9	東茨城郡茨城町	45.5%	9	龍ヶ崎市	9.143	☆9	猿島郡五霞町	127.0%
10	かすみがうら市	42.7%	10	小美玉市	8.929	☆10	小美玉市	123.1%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

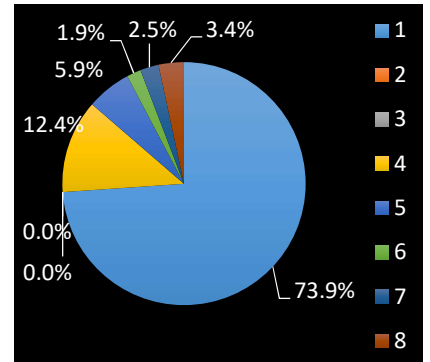
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

栃木県

2017年度 30,048TJ 対前年度比 109.6%

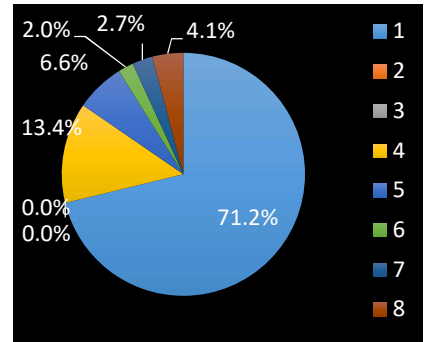


再生可能エネルギー供給状況

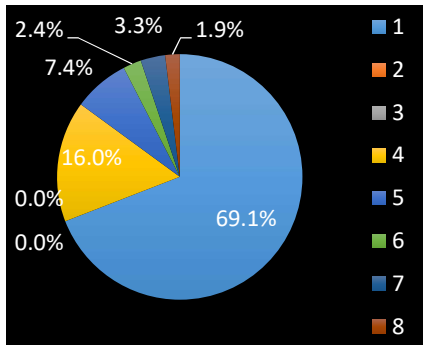
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 27,410TJ 対前年度比 119.4%



2015年度 22,960TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	22,209TJ	7	5	10	73.9%
2 風力発電	0TJ	40	40	40	0.0%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
○ 4 小水力発電	3,734TJ	11	19	12	12.4%
5 バイオマス発電	1,785TJ	20	18	20	5.9%
6 太陽熱利用	564TJ	26	26	28	1.9%
7 地熱利用	746TJ	10	12	7	2.5%
8.バイオマス熱利用	1,011TJ	23	23	26	3.4%
合計(供給量)	30,048TJ	12			
再生可能エネルギー自給率			24.68%	再エネ自給率ランク	11
食料自給率			62.9%	食料自給率ランク	13
供給密度(TJ/km ²)			4.689	供給密度ランク	14
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				121,763TJ	
区域面積				6,408km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	那須郡那珂川町	122.2%	1	下都賀郡壬生町	11.141	☆1	芳賀郡芳賀町	292.1%
2	那須烏山市	97.0%	2	下都賀郡野木町	8.134	☆2	塩谷郡塩谷町	246.4%
3	那須郡那須町	70.2%	3	宇都宮市	7.805	☆3	芳賀郡市貝町	206.1%
4	塩谷郡塩谷町	69.6%	4	足利市	7.780	☆4	那須郡那須町	205.0%
5	日光市	69.6%	5	小山市	7.439	☆5	大田原市	182.7%
6	那須塩原市	49.6%	6	下野市	7.382	☆6	塩谷郡高根沢町	161.3%
7	佐野市	36.0%	7	那須烏山市	7.249	☆7	さくら市	139.8%
8	芳賀郡市貝町	35.2%	8	佐野市	7.172	☆8	那須郡那珂川町	138.5%
9	大田原市	32.4%	9	河内郡上三川町	6.292	☆9	那須烏山市	121.7%
10	下都賀郡壬生町	30.2%	10	栃木市	6.285	☆10	那須塩原市	111.0%

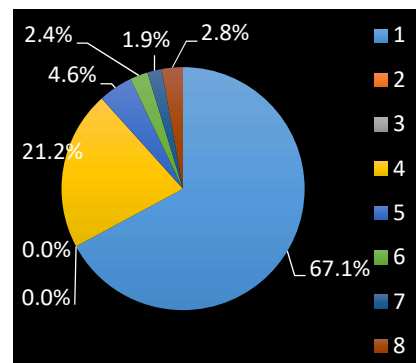
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

群馬県

2017年度 32,363TJ 対前年度比 115.3%



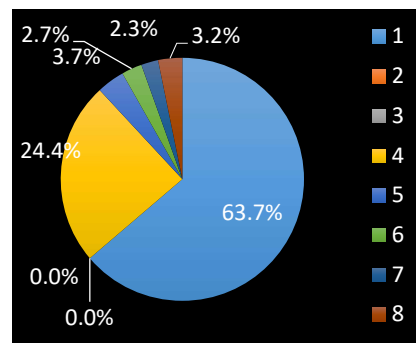
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

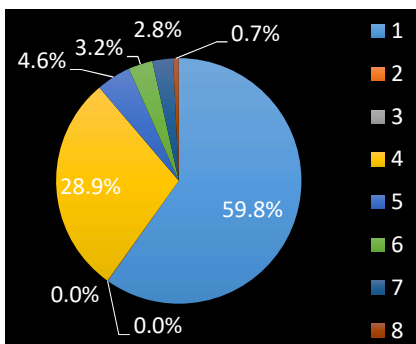
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	21,724TJ	8	3	11	67.1%
2 風力発電	3TJ	38	38	38	0.0%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
◎ 4 小水力発電	6,855TJ	4	6	3	21.2%
5 バイオマス発電	1,481TJ	26	23	25	4.6%
6 太陽熱利用	767TJ	18	16	17	2.4%
7 地熱利用	619TJ	13	15	9	1.9%
8. バイオマス熱利用	913TJ	29	24	27	2.8%
合計(供給量)	32,363TJ	8			
再生可能エネルギー自給率			28.59%	再エネ自給率ランク	5
食料自給率			29.8%	食料自給率ランク	32
供給密度(TJ/km ²)			5.087	供給密度ランク	10
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				113,196TJ	
区域面積				6,362km ²	

2016年度 28,077TJ 対前年度比 120.7%



2015年度 23,268TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	利根郡片品村	475.3%	1	前橋市	18.052	☆1	利根郡昭和村	360.8%
☆2	吾妻郡高山村	262.5%	2	伊勢崎市	17.337	☆2	吾妻郡嬭恋村	252.7%
☆3	吾妻郡嬭恋村	219.9%	3	邑楽郡大泉町	17.204	☆3	邑楽郡板倉町	226.7%
☆4	利根郡昭和村	216.5%	4	太田市	16.832	☆4	吾妻郡長野原町	172.0%
☆5	吾妻郡中之条町	135.6%	5	邑楽郡邑楽町	11.499	☆5	利根郡川場村	145.4%
☆6	吾妻郡東吾妻町	114.9%	6	利根郡昭和村	10.851	6	邑楽郡千代田町	98.0%
☆7	吾妻郡長野原町	114.7%	7	佐波郡玉村町	10.345	7	吾妻郡高山村	92.3%
8	利根郡みなかみ町	98.9%	8	館林市	9.491	8	吾妻郡東吾妻町	88.1%
9	邑楽郡千代田町	38.3%	9	邑楽郡千代田町	8.770	9	邑楽郡明和町	80.0%
10	邑楽郡板倉町	36.1%	10	北群馬郡吉岡町	8.241	10	邑楽郡邑楽町	73.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

埼玉県

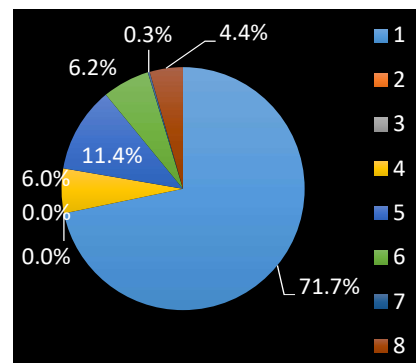
2017年度 26,263TJ 対前年度比 107.6%

再生可能エネルギー供給状況

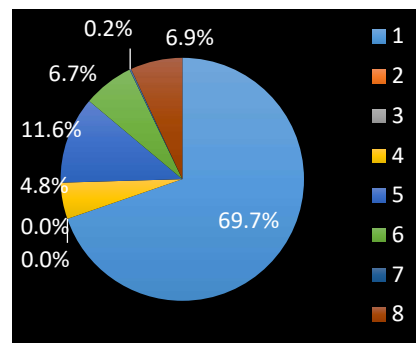
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

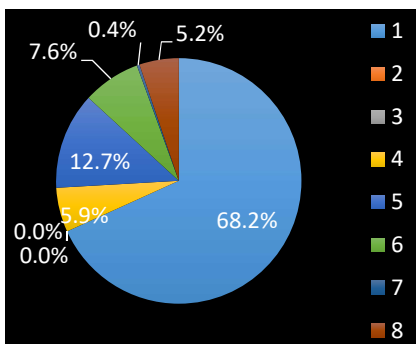
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	18,837TJ	11	35	5	71.7%
2 風力発電	0TJ	40	40	40	0.0%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	1,567TJ	28	40	17	6.0%
○ 5 バイオマス発電	2,986TJ	13	40	6	11.4%
6 太陽熱利用	1,641TJ	3	27	4	6.2%
7 地熱利用	66TJ	33	38	33	0.3%
8.バイオマス熱利用	1,165TJ	17	41	10	4.4%
合計(供給量)	26,263TJ	16			
再生可能エネルギー自給率			6.88%	再エネ自給率ランク	42
食料自給率			9.7%	食料自給率ランク	44
供給密度(TJ/km ²)			6.915	供給密度ランク	7
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				381,567TJ	
区域面積				3,798km ²	



2016年度 24,408TJ 対前年度比 121.6%



2015年度 20,069TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	秩父市	61.9%	1	ふじみ野市	21.329	☆1	児玉郡美里町	108.5%
2	児玉郡神川町	55.9%	2	戸田市	17.818	☆2	比企郡川島町	100.7%
3	児玉郡美里町	53.9%	3	川口市	16.266	3	比企郡吉見町	80.3%
4	比企郡吉見町	39.2%	4	さいたま市	13.675	4	加須市	74.9%
5	比企郡鳩山町	28.4%	5	三郷市	13.565	5	羽生市	53.9%
6	比企郡川島町	28.3%	6	本庄市	13.372	6	児玉郡神川町	51.3%
7	本庄市	25.8%	7	熊谷市	12.963	7	行田市	48.1%
8	秩父郡東秩父村	21.1%	8	蕨市	12.348	8	児玉郡上里町	47.5%
9	羽生市	20.5%	9	八潮市	11.868	9	北葛飾郡杉戸町	38.7%
10	加須市	18.6%	10	羽生市	10.610	10	幸手市	37.9%

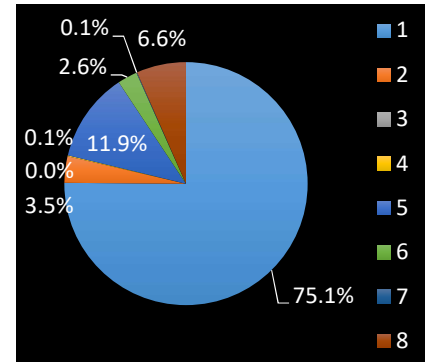
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

千葉県

2017年度 35,713TJ 対前年度比 112.0%

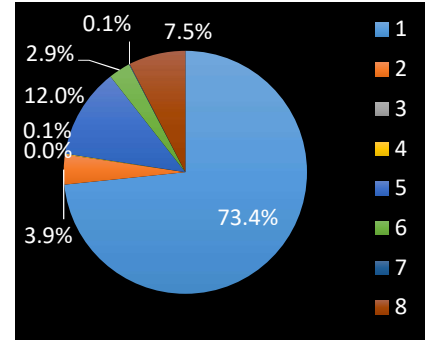


再生可能エネルギー供給状況

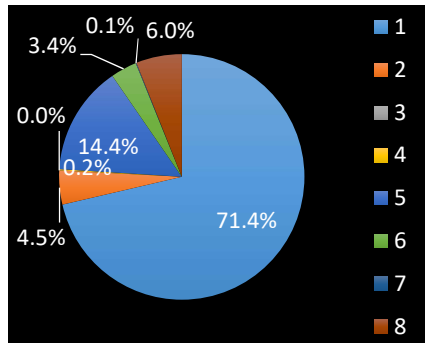
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 31,898TJ 対前年度比 120.5%



2015年度 26,480TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	26,828TJ	3	30	4	75.1%
2 風力発電	1,251TJ	16	25	13	3.5%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	44TJ	45	45	45	0.1%
○ 5 バイオマス発電	4,258TJ	9	27	5	11.9%
6 太陽熱利用	938TJ	11	34	12	2.6%
7 地熱利用	33TJ	40	43	40	0.1%
8.バイオマス熱利用	2,361TJ	6	30	6	6.6%
合計(供給量)	35,713TJ	5			
再生可能エネルギー自給率			9.70%	再エネ自給率ランク	39
食料自給率			24.9%	食料自給率ランク	34
供給密度(TJ/km ²)			6.924	供給密度ランク	6
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				367,995TJ	
区域面積				5,157km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	香取郡多古町	63.0%	1	流山市	21.270	☆1	香取郡多古町	302.8%
2	富津市	54.9%	2	銚子市	15.551	☆2	香取市	230.8%
3	長生郡睦沢町	48.5%	3	八街市	14.356	☆3	山武郡芝山町	212.8%
4	長生郡長生村	47.1%	4	市川市	14.259	☆4	香取郡東庄町	204.3%
5	長生郡長柄町	45.7%	5	浦安市	14.171	☆5	匝瑳市	198.3%
6	山武郡芝山町	44.9%	6	印旛郡酒々井町	14.045	☆6	山武郡横芝光町	180.4%
7	夷隅郡大多喜町	42.9%	7	船橋市	13.038	☆7	長生郡長南町	177.8%
8	山武市	41.1%	8	習志野市	12.365	☆8	旭市	171.0%
9	香取市	37.8%	9	市原市	11.785	☆9	香取郡神崎町	155.8%
10	山武郡横芝光町	34.5%	10	長生郡長生村	10.835	☆10	山武市	131.0%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

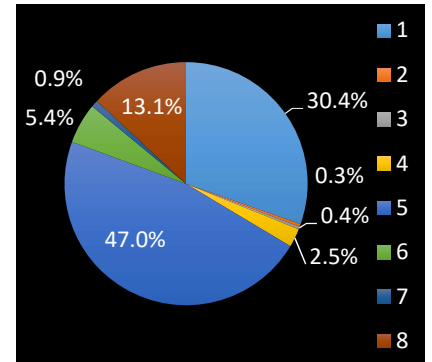
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

東京都

2017年度 20,612TJ 対前年度比 103.1%

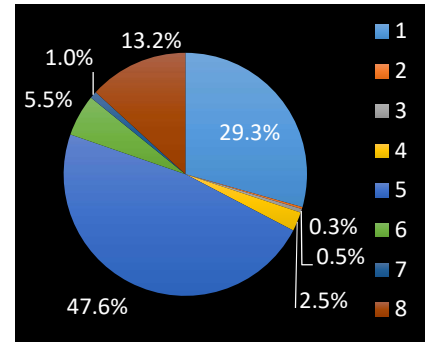
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

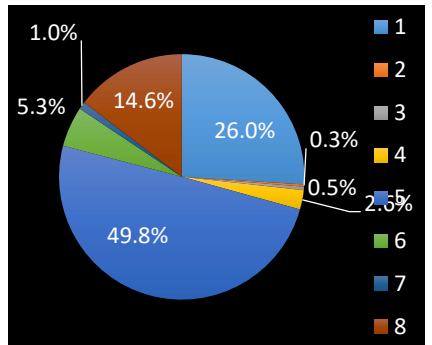


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 19,988TJ 対前年度比 101.0%



2015年度 19,781TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6,265TJ	33	47	14	30.4%
2 風力発電	70TJ	33	37	30	0.3%
3 地熱発電	81TJ	8	8	6	0.4%
4 小水力発電	508TJ	40	44	31	2.5%
◎ 5 バイオマス発電	9,688TJ	1	36	1	47.0%
6 太陽熱利用	1,111TJ	9	44	3	5.4%
7 地熱利用	188TJ	27	39	12	0.9%
○ 8 バイオマス熱利用	2,701TJ	4	44	2	13.1%
合計(供給量)	20,612TJ	25			
再生可能エネルギー自給率			1.85%	再エネ自給率ランク 47	
食料自給率			0.5%	食料自給率ランク 47	
供給密度(TJ/km ²)			9.452	供給密度ランク 3	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				1,115,277TJ	
区域面積				2,181km ²	

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西多摩郡奥多摩町	108.7%	1	江東区	63.204	☆1	青ヶ島村	694.7%
2	八丈町	22.5%	2	中央区	62.235	2	八丈町	63.3%
3	神津島村	16.8%	3	港区	45.020	3	神津島村	34.8%
4	稲城市	12.7%	4	豊島区	37.814	4	利島村	16.8%
5	新島村	10.1%	5	墨田区	34.875	5	小笠原村	14.1%
6	御蔵島村	9.0%	6	東久留米市	31.839	6	三宅村	10.6%
7	東久留米市	8.1%	7	稲城市	28.943	7	あきる野市	8.7%
8	三宅村	7.5%	8	品川区	26.802	8	御蔵島村	6.9%
9	江東区	6.4%	9	多摩市	26.737	9	新島村	4.5%
10	多摩市	6.0%	10	世田谷区	22.712	10	大島町	3.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

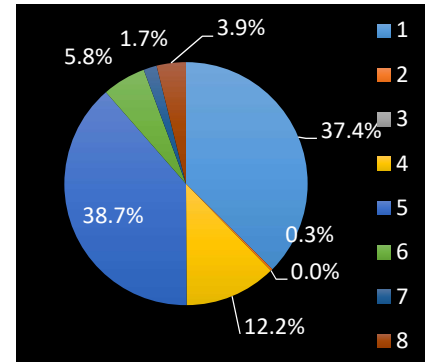
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

神奈川県

2017年度 24,197TJ 対前年度比 101.3%

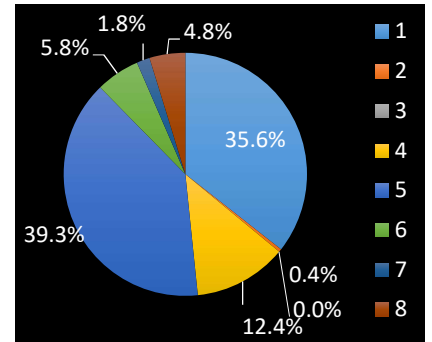
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

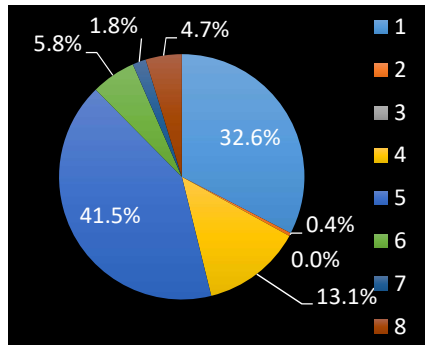


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 23,894TJ 対前年度比 106.4%



2015年度 22,464TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	9,057TJ	24	46	8	37.4%
2 風力発電	62TJ	35	36	31	0.3%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
○ 4 小水力発電	2,958TJ	18	36	2	12.2%
◎ 5 バイオマス発電	9,353TJ	2	13	3	38.7%
6 太陽熱利用	1,400TJ	6	33	2	5.8%
7 地熱利用	423TJ	17	30	5	1.7%
8.バイオマス熱利用	944TJ	27	45	8	3.9%
合計(供給量)	24,197TJ	19			
再生可能エネルギー自給率			4.78%	再エネ自給率ランク	45
食料自給率			2.0%	食料自給率ランク	45
供給密度(TJ/km ²)			10.014	供給密度ランク	2
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				506,370TJ	
区域面積				2,416km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	足柄上郡山北町	263.1%	1	川崎市	46.349	1	三浦市	76.2%
2	足柄下郡箱根町	39.7%	2	平塚市	18.054	2	愛甲郡清川村	23.8%
3	南足柄市	24.2%	3	座間市	16.945	3	足柄上郡中井町	22.0%
4	足柄上郡中井町	21.9%	4	大和市	15.792	4	足柄下郡真鶴町	15.3%
5	足柄上郡大井町	21.1%	5	茅ヶ崎市	14.660	5	足柄上郡大井町	13.5%
6	足柄下郡湯河原町	10.0%	6	足柄上郡大井町	14.284	6	足柄上郡開成町	12.8%
7	平塚市	8.5%	7	海老名市	14.260	7	伊勢原市	10.7%
8	川崎市	8.2%	8	綾瀬市	11.295	8	平塚市	8.0%
9	秦野市	8.1%	9	足柄下郡箱根町	11.020	9	南足柄市	7.8%
10	愛甲郡愛川町	7.6%	10	横浜市	10.707	10	足柄上郡山北町	7.6%

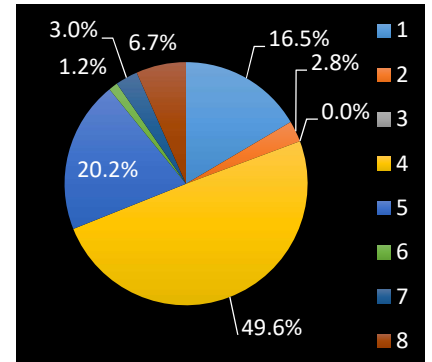
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

新潟県

2017年度 16,129TJ 対前年度比 104.3%



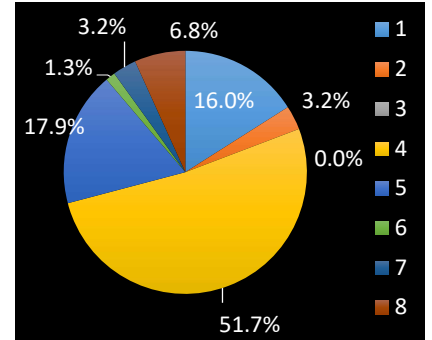
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

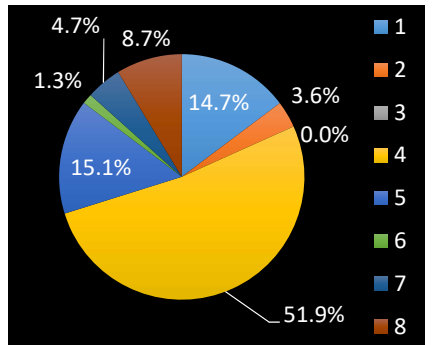
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
○ 1 太陽光発電	2,666TJ	44	45	44	16.5%
2 風力発電	449TJ	26	26	28	2.8%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
◎ 4 小水力発電	8,003TJ	3	7	9	49.6%
◎ 5 バイオマス発電	3,262TJ	11	10	21	20.2%
6 太陽熱利用	196TJ	39	39	42	1.2%
7 地熱利用	480TJ	16	20	24	3.0%
8 バイオマス熱利用	1,073TJ	20	26	35	6.7%
合計(供給量)	16,129TJ	29			
再生可能エネルギー自給率			11.33%	再エネ自給率ランク 34	
食料自給率			95.6%	食料自給率ランク 5	
供給密度(TJ/km ²)			1.282	供給密度ランク 45	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				142,337TJ	
区域面積				12,584km ²	

2016年度 15,471TJ 対前年度比 101.8%



2015年度 15,192TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	糸魚川市	163.1%	1	糸魚川市	5.399	☆1	岩船郡関川村	309.7%
2	中魚沼郡津南町	93.7%	2	妙高市	3.334	☆2	中魚沼郡津南町	299.6%
3	東蒲原郡阿賀町	77.7%	3	胎内市	3.195	☆3	阿賀野市	228.1%
4	妙高市	74.3%	4	新潟市	3.008	☆4	胎内市	195.0%
5	胎内市	55.3%	5	中魚沼郡津南町	2.873	☆5	佐渡市	193.7%
6	魚沼市	50.9%	6	北蒲原郡聖籠町	2.372	☆6	西蒲原郡弥彦村	186.2%
7	南魚沼郡湯沢町	49.4%	7	南魚沼市	1.462	☆7	村上市	180.6%
8	南魚沼市	25.4%	8	三条市	1.452	☆8	新発田市	161.1%
9	三島郡出雲崎町	19.2%	9	阿賀野市	1.241	☆9	刈羽郡刈羽村	152.6%
10	岩船郡関川村	16.1%	10	新発田市	1.126	☆10	南魚沼市	143.4%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

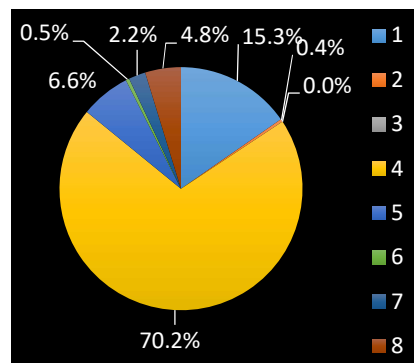
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

富山県

2017年度 18,076TJ 対前年度比 101.7%



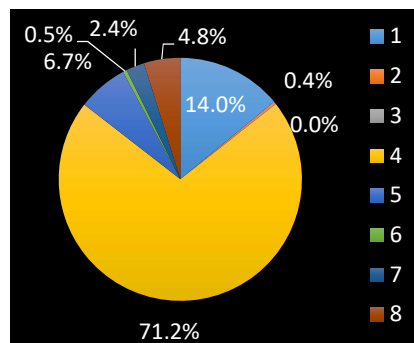
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

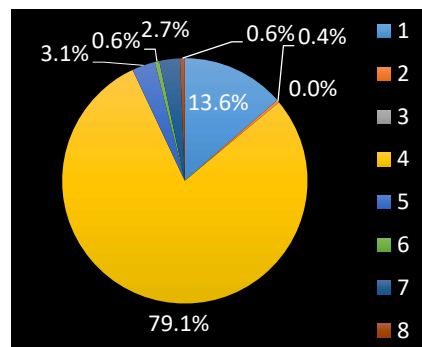
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
○ 1 太陽光発電	2,772TJ	42	38	39	15.3%
2 風力発電	66TJ	34	33	34	0.4%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
◎ 4 小水力発電	12,689TJ	2	1	1	70.2%
5 バイオマス発電	1,193TJ	30	15	19	6.6%
6 太陽熱利用	90TJ	44	41	41	0.5%
7 地熱利用	406TJ	18	14	10	2.2%
8 バイオマス熱利用	860TJ	32	18	19	4.8%
合計(供給量)	18,076TJ	27			
再生可能エネルギー自給率			25.48%	再エネ自給率ランク 8	
食料自給率			73.2%	食料自給率ランク 9	
供給密度(TJ/km ²)			4.256	供給密度ランク 16	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				70,943TJ	
区域面積				4,248km ²	

2016年度 17,769TJ 対前年度比 111.6%



2015年度 15,918TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下新川郡朝日町	121.5%	1	滑川市	14.755	☆1	下新川郡入善町	263.1%
2	中新川郡立山町	90.8%	2	魚津市	9.421	☆2	南砺市	188.1%
3	魚津市	66.7%	3	富山市	6.352	☆3	下新川郡朝日町	175.3%
4	中新川郡上市町	62.0%	4	下新川郡入善町	5.914	☆4	小矢部市	161.3%
5	黒部市	61.3%	5	射水市	5.821	☆5	中新川郡立山町	153.4%
6	滑川市	46.4%	6	下新川郡朝日町	4.079	☆6	砺波市	135.7%
7	下新川郡入善町	32.2%	7	中新川郡立山町	3.839	7	中新川郡舟橋村	90.6%
8	富山市	24.6%	8	黒部市	3.601	8	中新川郡上市町	89.6%
9	小矢部市	13.0%	9	高岡市	3.044	9	黒部市	89.6%
10	射水市	11.8%	10	中新川郡上市町	2.842	10	滑川市	84.9%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

石川県

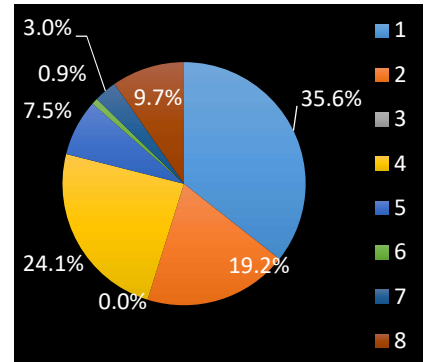
2017年度 10,969TJ 対前年度比 107.1%

再生可能エネルギー供給状況

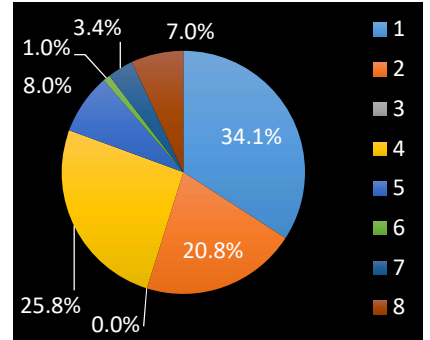
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

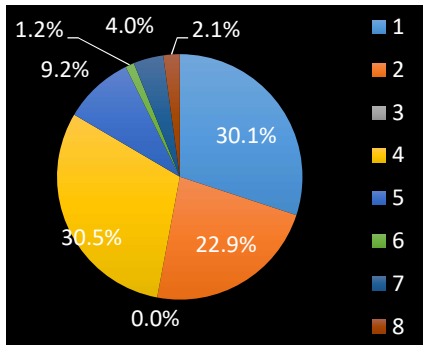
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	3,909TJ	39	36	36	35.6%
○ 2 風力発電	2,108TJ	11	8	4	19.2%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
◎ 4 小水力発電	2,639TJ	20	17	10	24.1%
5 バイオマス発電	822TJ	36	33	29	7.5%
6 太陽熱利用	99TJ	43	42	39	0.9%
7 地熱利用	332TJ	19	19	14	3.0%
8.バイオマス熱利用	1,061TJ	22	15	15	9.7%
合計(供給量)	10,969TJ	38			
再生可能エネルギー自給率			13.32%	再エネ自給率ランク	29
食料自給率			45.3%	食料自給率ランク	21
供給密度(TJ/km ²)			2.620	供給密度ランク	26
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				82,378TJ	
区域面積				4,186km ²	



2016年度 10,238TJ 対前年度比 119.7%



2015年度 8,551TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	珠洲市	103.6%	1	野々市市	5.773	☆1	能美郡川北町	184.5%
2	羽咋郡宝達志水町	89.5%	2	羽咋郡宝達志水町	5.194	☆2	羽咋郡志賀町	166.5%
3	羽咋郡志賀町	82.2%	3	河北郡内灘町	4.755	☆3	羽咋市	142.3%
4	白山市	40.3%	4	能美郡川北町	4.578	☆4	羽咋郡宝達志水町	132.6%
5	輪島市	22.4%	5	羽咋郡志賀町	4.097	☆5	鳳珠郡能登町	129.9%
6	能美郡川北町	22.2%	6	珠洲市	4.034	☆6	珠洲市	121.4%
7	七尾市	20.9%	7	かほく市	3.948	☆7	鹿島郡中能登町	113.2%
8	羽咋市	19.8%	8	白山市	3.613	☆8	鳳珠郡穴水町	107.7%
9	かほく市	14.2%	9	金沢市	3.333	☆9	輪島市	104.4%
10	鳳珠郡穴水町	13.3%	10	羽咋市	3.176	10	加賀市	72.1%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

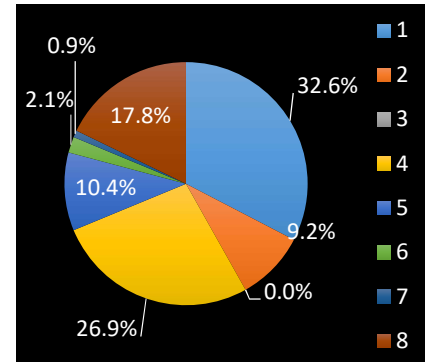
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福井県

2017年度 5,985TJ 対前年度比 102.9%

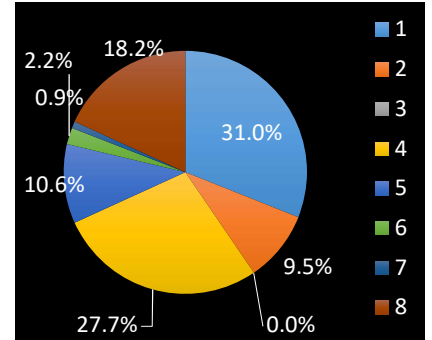
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

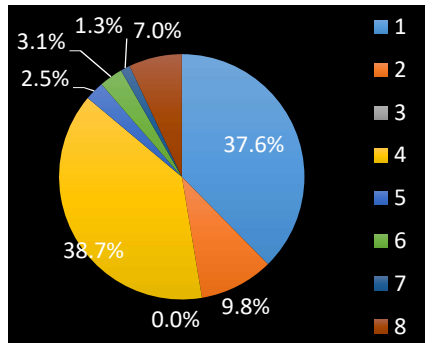


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 5,817TJ 対前年度比 144.5%



2015年度 4,026TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	1,954TJ	47	40	42	32.6%
2 風力発電	552TJ	24	20	22	9.2%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
◎ 4 小水力発電	1,610TJ	27	21	19	26.9%
○ 5 バイオマス発電	621TJ	41	32	36	10.4%
6 太陽熱利用	127TJ	41	36	38	2.1%
7 地熱利用	55TJ	36	29	36	0.9%
○ 8 バイオマス熱利用	1,067TJ	21	8	14	17.8%
合計(供給量)	5,985TJ	46			
再生可能エネルギー自給率			10.01%	再エネ自給率ランク 37	
食料自給率			62.0%	食料自給率ランク 15	
供給密度(TJ/km ²)			1.428	供給密度ランク 43	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				59,767TJ	
区域面積				4,191km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	大野市	63.2%	1	あわら市	6.113	☆1	今立郡池田町	168.2%
2	あわら市	36.6%	2	坂井市	3.160	☆2	大野市	158.6%
3	今立郡池田町	34.0%	3	福井市	2.247	☆3	三方上中郡若狭町	138.6%
4	勝山市	27.6%	4	鯖江市	1.941	☆4	あわら市	138.4%
5	坂井市	11.9%	5	勝山市	1.617	☆5	南条郡南越前町	114.1%
6	三方郡美浜町	11.2%	6	大野市	1.610	☆6	三方郡美浜町	100.7%
7	福井市	5.0%	7	越前市	0.774	7	大飯郡おおい町	97.4%
8	南条郡南越前町	4.1%	8	敦賀市	0.657	8	坂井市	96.5%
9	鯖江市	3.8%	9	三方郡美浜町	0.587	9	勝山市	83.7%
10	三方上中郡若狭町	3.5%	10	吉田郡永平寺町	0.479	10	丹生郡越前町	80.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

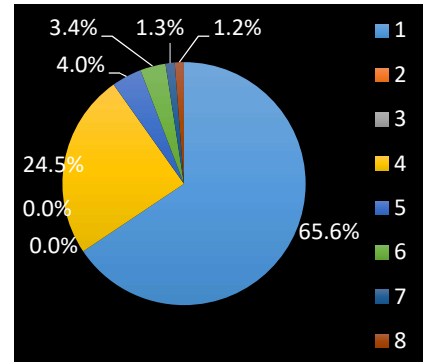
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山梨県

2017年度 11,763TJ 対前年度比 104.6%



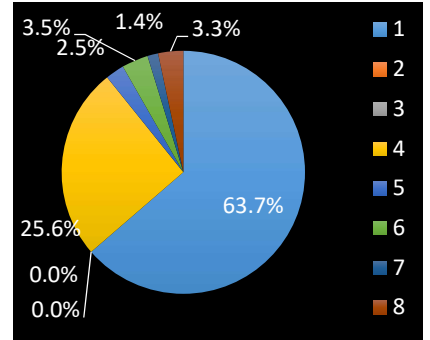
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

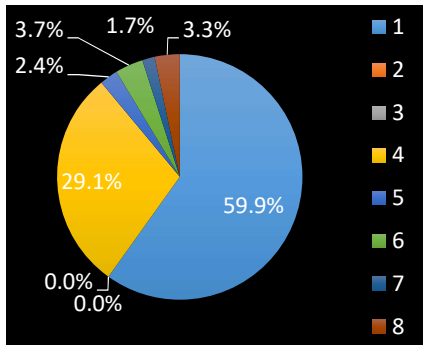
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	7,718TJ	29	9	24	65.6%
2 風力発電	0TJ	40	40	40	0.0%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
◎ 4 小水力発電	2,886TJ	19	8	8	24.5%
5 バイオマス発電	474TJ	44	34	41	4.0%
6 太陽熱利用	396TJ	31	13	27	3.4%
7 地熱利用	148TJ	29	22	26	1.3%
8. バイオマス熱利用	141TJ	45	42	46	1.2%
合計(供給量)	11,763TJ	34			
再生可能エネルギー自給率			22.17%	再エネ自給率ランク 19	
食料自給率			18.4%	食料自給率ランク 38	
供給密度(TJ/km ²)			2.637	供給密度ランク 25	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				53,058TJ	
区域面積				4,461km ²	

2016年度 11,246TJ 対前年度比 113.8%



2015年度 9,885TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	南巨摩郡早川町	444.9%	1	中巨摩郡昭和町	15.257	☆1	北杜市	100.7%
2	北杜市	99.9%	2	南都留郡忍野村	8.687	2	韮崎市	51.0%
3	甲州市	48.4%	3	中央市	8.148	3	甲州市	27.8%
4	南都留郡忍野村	46.2%	4	甲斐市	8.076	4	中央市	23.9%
5	韮崎市	44.0%	5	甲府市	6.293	5	北都留郡丹波山村	23.9%
6	南都留郡鳴沢村	35.5%	6	韮崎市	5.385	6	南巨摩郡南部町	23.5%
7	山梨市	31.0%	7	笛吹市	4.804	7	笛吹市	20.8%
8	南アルプス市	30.9%	8	北杜市	4.560	8	山梨市	19.7%
9	西八代郡市川三郷町	28.6%	9	南アルプス市	3.891	9	南都留郡鳴沢村	18.8%
10	笛吹市	23.7%	10	甲州市	3.020	10	南アルプス市	18.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長野県

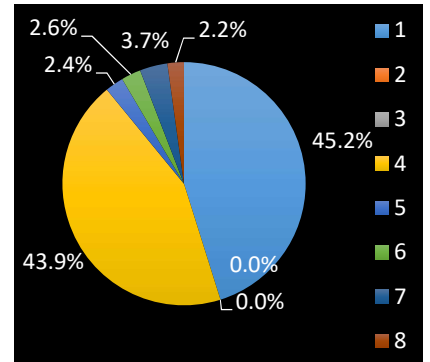
2017年度 31,862TJ 対前年度比 108.3%

再生可能エネルギー供給状況

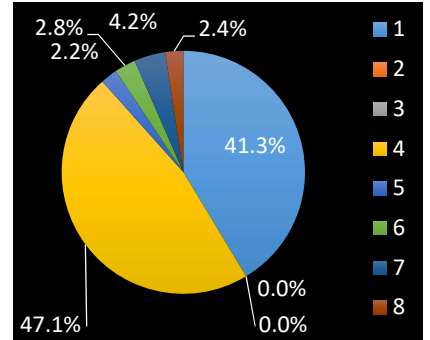
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

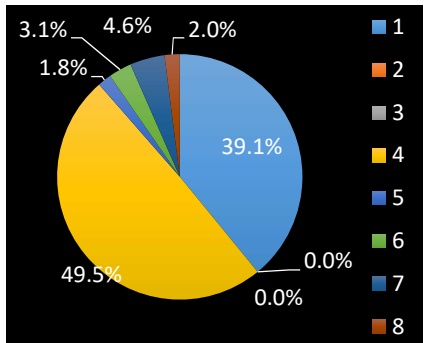
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	14,391TJ	15	21	34	45.2%
2 風力発電	0TJ	40	40	40	0.0%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	13,982TJ	1	2	4	43.9%
5 バイオマス発電	777TJ	37	44	46	2.4%
6 太陽熱利用	836TJ	14	20	34	2.6%
7 地熱利用	1,174TJ	7	6	11	3.7%
8.バイオマス熱利用	702TJ	37	35	42	2.2%
合計(供給量)	31,862TJ	10			
再生可能エネルギー自給率			23.58%	再エネ自給率ランク	15
食料自給率			49.3%	食料自給率ランク	19
供給密度(TJ/km ²)			2.349	供給密度ランク	33
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				135,143TJ	
区域面積				13,562km ²	



2016年度 29,426TJ 対前年度比 109.1%



2015年度 26,963TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下伊那郡平谷村	1053.9%	1	諏訪市	7.759	☆1	南佐久郡川上村	621.1%
☆2	下伊那郡大鹿村	1013.8%	2	南佐久郡小海町	7.501	☆2	南佐久郡南牧村	598.8%
☆3	下水内郡栄村	565.1%	3	小諸市	5.942	☆3	下水内郡栄村	221.4%
☆4	南佐久郡小海町	278.6%	4	上伊那郡飯島町	5.579	☆4	下高井郡木島平村	219.3%
☆5	北安曇郡小谷村	196.2%	5	下伊那郡平谷村	5.294	☆5	北佐久郡立科町	182.9%
☆6	下伊那郡泰阜村	194.1%	6	北佐久郡御代田町	5.060	☆6	北安曇郡松川村	177.7%
☆7	下伊那郡阿南町	182.2%	7	上伊那郡南箕輪村	4.750	☆7	諏訪郡原村	173.6%
☆8	下伊那郡阿智村	176.3%	8	安曇野市	4.654	☆8	上水内郡信濃町	168.7%
☆9	小県郡長和町	162.6%	9	東御市	4.079	☆9	南佐久郡小海町	159.1%
☆10	南佐久郡佐久穂町	137.6%	10	下伊那郡阿南町	4.065	☆10	飯山市	152.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

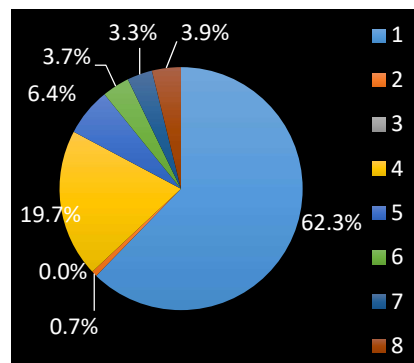
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岐阜県

2017年度 21,976TJ 対前年度比 105.4%

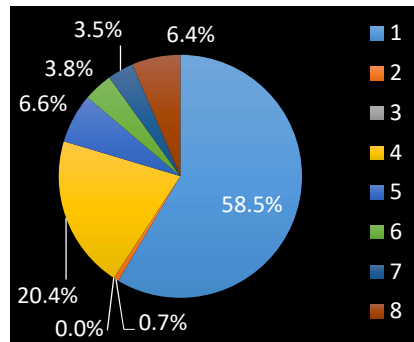


再生可能エネルギー供給状況

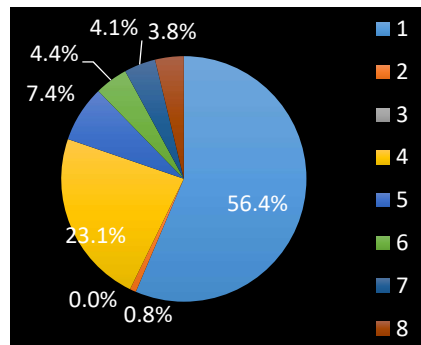
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 20,848TJ 対前年度比 113.9%



2015年度 18,297TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13,689TJ	18	19	32	62.3%
2 風力発電	164TJ	30	31	35	0.7%
3 地熱発電	0TJ	13	12	13	0.0%
○ 4 小水力発電	4,335TJ	10	15	18	19.7%
5 バイオマス発電	1,401TJ	27	30	38	6.4%
6 太陽熱利用	805TJ	15	18	33	3.7%
7 地熱利用	735TJ	11	13	16	3.3%
8.バイオマス熱利用	847TJ	33	29	37	3.9%
合計(供給量)	21,976TJ	22			
再生可能エネルギー自給率			17.28%	再エネ自給率ランク 24	
食料自給率			22.9%	食料自給率ランク 35	
供給密度(TJ/km ²)			2.069	供給密度ランク 37	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				127,189TJ	
区域面積				10,621km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	加茂郡富加町	86.0%	1	瑞穂市	25.956	☆1	海津市	141.5%
2	揖斐郡揖斐川町	74.4%	2	羽島市	16.955	☆2	安八郡輪之内町	106.7%
3	加茂郡川辺町	66.9%	3	羽島郡岐南町	14.478	3	養老郡養老町	82.9%
4	恵那市	63.6%	4	本巣郡北方町	14.399	4	揖斐郡揖斐川町	58.1%
5	加茂郡白川町	54.3%	5	加茂郡富加町	12.465	5	加茂郡東白川村	57.6%
6	加茂郡八百津町	46.4%	6	羽島郡笠松町	10.453	6	加茂郡白川町	54.1%
7	本巣市	45.3%	7	各務原市	10.305	7	郡上市	53.6%
8	美濃市	42.5%	8	安八郡神戸町	9.733	8	高山市	52.4%
9	飛騨市	39.2%	9	岐阜市	8.647	9	加茂郡富加町	49.7%
10	加茂郡東白川村	30.4%	10	多治見市	8.077	10	恵那市	49.1%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

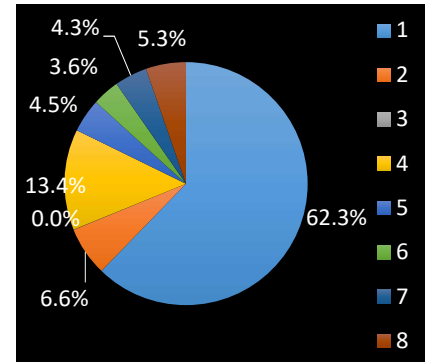
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

静岡県

2017年度 39,203TJ 対前年度比 109.3%

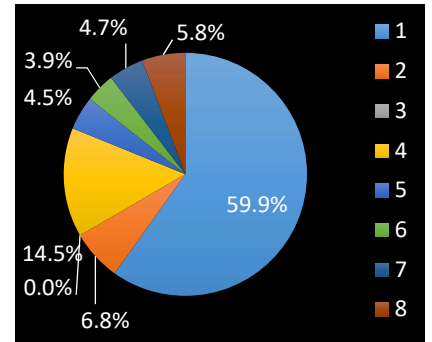
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

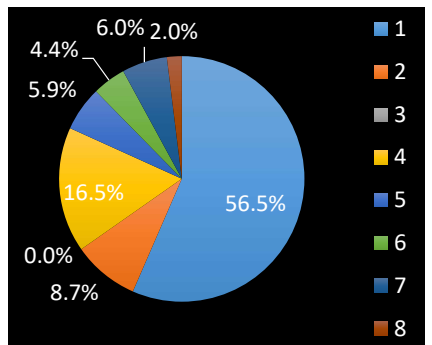


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 35,855TJ 対前年度比 125.9%



2015年度 28,475TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	24,408TJ	5	20	12	62.3%
2 風力発電	2,570TJ	8	17	9	6.6%
3 地熱発電	3TJ	10	11	10	0.0%
○ 4 小水力発電	5,255TJ	8	24	6	13.4%
5 バイオマス発電	1,762TJ	22	41	26	4.5%
6 太陽熱利用	1,415TJ	5	19	11	3.6%
7 地熱利用	1,694TJ	4	9	3	4.3%
8. バイオマス熱利用	2,095TJ	9	19	13	5.3%
合計(供給量)	39,203TJ	4			
再生可能エネルギー自給率			17.17%	再エネ自給率ランク 25	
食料自給率			15.2%	食料自給率ランク 39	
供給密度(TJ/km ²)			5.041	供給密度ランク 11	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				228,346TJ	
区域面積				7,777km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	賀茂郡南伊豆町	121.1%	1	榛原郡吉田町	16.224	1	焼津市	56.6%
2	駿東郡小山町	94.1%	2	焼津市	13.607	2	御前崎市	47.9%
3	賀茂郡東伊豆町	67.3%	3	牧之原市	13.156	3	沼津市	43.9%
4	賀茂郡河津町	64.3%	4	御前崎市	12.618	4	周智郡森町	43.5%
5	牧之原市	60.8%	5	磐田市	11.747	5	袋井市	33.6%
6	御前崎市	45.4%	6	湖西市	11.680	6	牧之原市	31.3%
7	富士宮市	42.5%	7	袋井市	10.186	7	菊川市	31.0%
8	菊川市	38.4%	8	熱海市	10.019	8	駿東郡小山町	30.7%
9	湖西市	34.4%	9	菊川市	9.778	9	掛川市	29.3%
10	伊豆市	31.0%	10	賀茂郡東伊豆町	9.724	10	伊豆市	25.4%

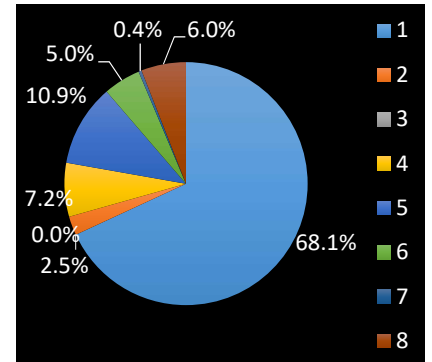
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

愛知県

2017年度 42,694TJ 対前年度比 105.4%



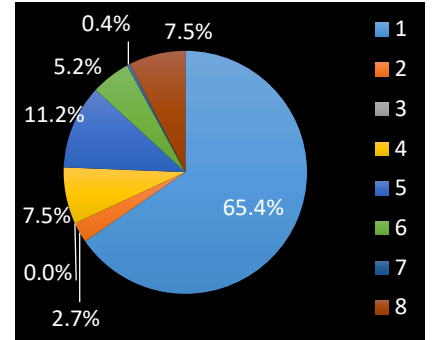
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

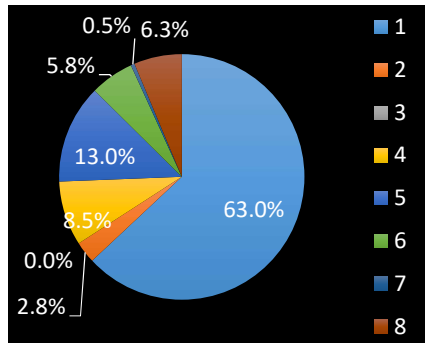
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	29,073TJ	2	31	3	68.1%
2 風力発電	1,076TJ	19	28	18	2.5%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	3,057TJ	17	33	11	7.2%
○ 5 バイオマス発電	4,657TJ	7	31	4	10.9%
6 太陽熱利用	2,119TJ	1	24	5	5.0%
7 地熱利用	170TJ	28	34	28	0.4%
8 バイオマス熱利用	2,543TJ	5	31	4	6.0%
合計(供給量)	42,694TJ	3			
再生可能エネルギー自給率			9.55%	再エネ自給率ランク	40
食料自給率			11.5%	食料自給率ランク	42
供給密度(TJ/km ²)			8.258	供給密度ランク	4
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				447,199TJ	
区域面積				5,170km ²	

2016年度 40,505TJ 対前年度比 114.6%



2015年度 35,344TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	田原市	103.1%	1	知多郡武豊町	40.473	☆1	海部郡飛島村	251.0%
2	知多郡武豊町	58.0%	2	名古屋市	20.796	☆2	知多郡南知多町	193.4%
3	知多郡美浜町	39.8%	3	高浜市	19.600	☆3	田原市	133.0%
4	海部郡飛島村	38.2%	4	半田市	16.530	☆4	北設楽郡設楽町	120.0%
5	新城市	33.4%	5	北名古屋市	16.158	5	愛西市	64.1%
6	弥富市	25.7%	6	一宮市	16.038	6	弥富市	62.4%
7	豊田市	23.6%	7	田原市	16.026	7	新城市	49.3%
8	知多郡阿久比町	22.0%	8	岩倉市	15.675	8	西尾市	44.1%
9	知多郡東浦町	19.7%	9	海部郡大治町	14.996	9	知多郡美浜町	41.1%
10	常滑市	19.3%	10	刈谷市	14.434	10	碧南市	33.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

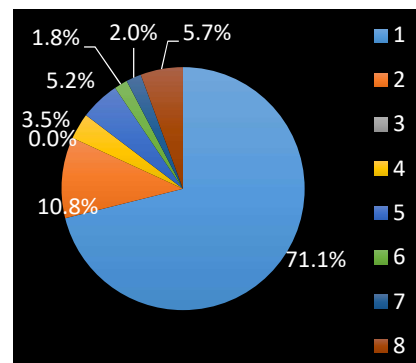
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

三重県

2017年度 28,314TJ 対前年度比 112.1%

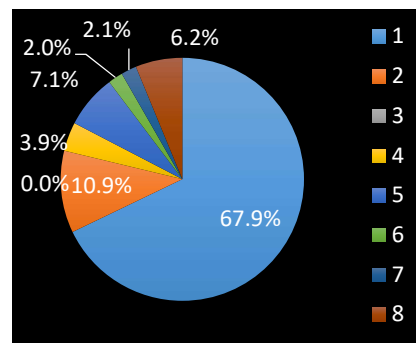


再生可能エネルギー供給状況

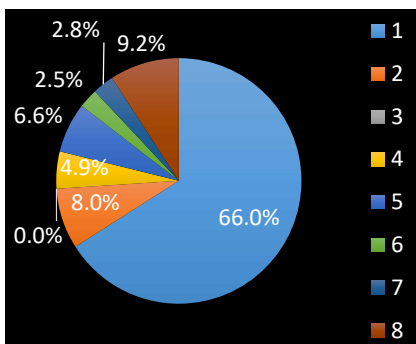
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 25,248TJ 対前年度比 131.3%



2015年度 19,232TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	20,128TJ	9	6	9	71.1%
○ 2 風力発電	3,052TJ	6	9	3	10.8%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	978TJ	36	32	36	3.5%
5 バイオマス発電	1,484TJ	25	26	23	5.2%
6 太陽熱利用	504TJ	27	28	29	1.8%
7 地熱利用	567TJ	14	17	8	2.0%
8.バイオマス熱利用	1,600TJ	11	13	12	5.7%
合計(供給量)	28,314TJ	14			
再生可能エネルギー自給率			23.56%	再エネ自給率ランク	16
食料自給率			39.2%	食料自給率ランク	26
供給密度(TJ/km ²)			4.903	供給密度ランク	13
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				120,159TJ	
区域面積				5,774km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	度会郡度会町	189.8%	1	三重郡川越町	113.023	☆1	度会郡南伊勢町	488.3%
☆2	桑名郡木曾岬町	150.6%	2	桑名郡木曾岬町	36.107	☆2	鳥羽市	122.4%
☆3	多気郡大台町	112.0%	3	員弁郡東員町	15.328	☆3	度会郡玉城町	117.9%
4	多気郡多気町	98.5%	4	多気郡明和町	11.466	☆4	桑名郡木曾岬町	116.2%
5	伊賀市	66.3%	5	鈴鹿市	10.998	☆5	北牟婁郡紀北町	114.4%
6	三重郡川越町	54.5%	6	四日市市	10.604	☆6	多気郡多気町	100.9%
7	いなべ市	46.0%	7	三重郡朝日町	9.667	7	多気郡明和町	98.7%
8	多気郡明和町	40.0%	8	多気郡多気町	7.334	8	南牟婁郡御浜町	86.6%
9	北牟婁郡紀北町	38.4%	9	伊賀市	6.854	9	度会郡大紀町	81.2%
10	志摩市	35.6%	10	津市	6.752	10	伊賀市	79.7%

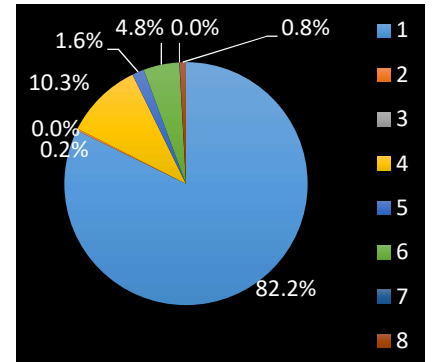
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

滋賀県

2017年度 9,490TJ 対前年度比 109.1%

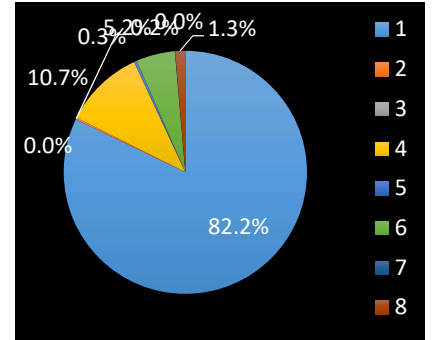


再生可能エネルギー供給状況

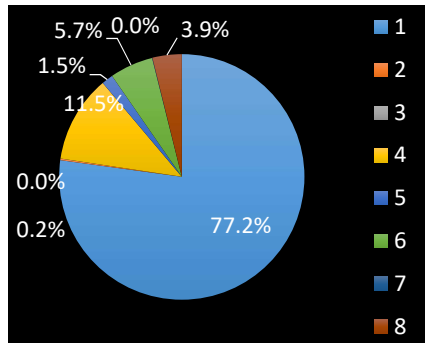
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 8,696TJ 対前年度比 108.1%



2015年度 8,043TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	7,805TJ	28	24	20	82.2%
2 風力発電	20TJ	37	34	36	0.2%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
○ 4 小水力発電	979TJ	35	30	29	10.3%
5 バイオマス発電	151TJ	47	47	47	1.6%
6 太陽熱利用	452TJ	28	23	19	4.8%
7 地熱利用	4TJ	45	45	44	0.0%
8.バイオマス熱利用	80TJ	47	47	47	0.8%
合計(供給量)	9,490TJ	40			
再生可能エネルギー自給率			10.42%	再エネ自給率ランク	35
食料自給率			46.7%	食料自給率ランク	20
供給密度(TJ/km ²)			2.362	供給密度ランク	31
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				91,081TJ	
区域面積				4,017km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	蒲生郡日野町	39.5%	1	犬上郡豊郷町	8.876	☆1	蒲生郡竜王町	145.3%
2	米原市	34.2%	2	愛知郡愛荘町	8.285	☆2	犬上郡甲良町	132.3%
3	愛知郡愛荘町	28.6%	3	草津市	6.478	☆3	高島市	117.2%
4	高島市	23.1%	4	栗東市	6.379	☆4	蒲生郡日野町	104.2%
5	甲賀市	21.4%	5	守山市	5.150	☆5	東近江市	102.8%
6	蒲生郡竜王町	21.1%	6	犬上郡甲良町	4.419	6	愛知郡愛荘町	90.7%
7	犬上郡多賀町	21.0%	7	湖南市	4.220	7	長浜市	86.0%
8	東近江市	18.2%	8	蒲生郡日野町	4.192	8	近江八幡市	84.8%
9	犬上郡甲良町	17.9%	9	蒲生郡竜王町	3.861	9	犬上郡豊郷町	84.7%
10	犬上郡豊郷町	15.1%	10	彦根市	3.558	10	野洲市	76.4%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

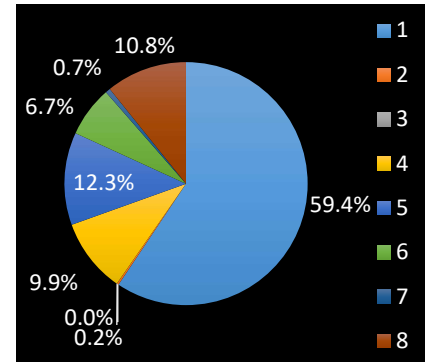
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

京都府

2017年度 8,960TJ 対前年度比 96.3%



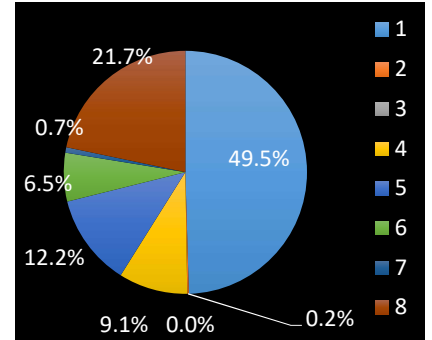
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

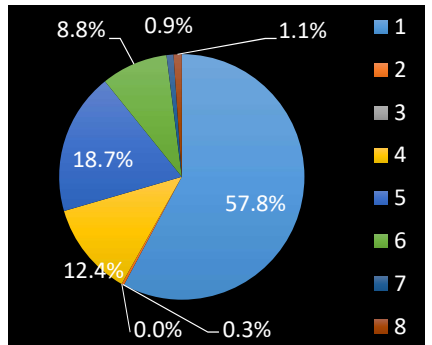
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	5,320TJ	35	41	33	59.4%
2 風力発電	21TJ	36	35	37	0.2%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	887TJ	38	37	33	9.9%
○ 5 バイオマス発電	1,103TJ	32	43	24	12.3%
6 太陽熱利用	602TJ	24	30	14	6.7%
7 地熱利用	62TJ	34	35	35	0.7%
○ 8 バイオマス熱利用	965TJ	26	32	17	10.8%
合計(供給量)	8,960TJ	42			
再生可能エネルギー自給率			5.27%	再エネ自給率ランク	44
食料自給率			11.3%	食料自給率ランク	43
供給密度(TJ/km ²)			1.954	供給密度ランク	39
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				170,095TJ	
区域面積				4,585km ²	

2016年度 9,308TJ 対前年度比 135.3%



2015年度 6,879TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	相楽郡南山城村	137.8%	1	木津川市	64.813	☆1	与謝郡伊根町	177.4%
2	相楽郡笠置町	82.6%	2	城陽市	8.767	☆2	船井郡京丹波町	123.1%
3	船井郡京丹波町	60.9%	3	向日市	8.286	3	京丹後市	93.0%
4	綴喜郡宇治田原町	39.3%	4	相楽郡精華町	6.957	4	南丹市	89.2%
5	与謝郡伊根町	21.8%	5	八幡市	6.367	5	綾部市	78.6%
6	相楽郡和束町	16.5%	6	長岡京市	4.726	6	相楽郡南山城村	58.0%
7	綾部市	15.5%	7	京田辺市	4.724	7	与謝郡与謝野町	54.7%
8	南丹市	15.5%	8	宇治市	4.385	8	宮津市	46.0%
9	木津川市	11.4%	9	久世郡久御山町	4.051	9	福知山市	41.4%
10	亀岡市	10.9%	10	京都市	3.768	10	亀岡市	36.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大阪府

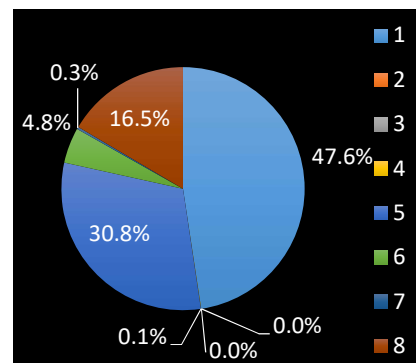
2017年度 24,475TJ 対前年度比 106.6%

再生可能エネルギー供給状況

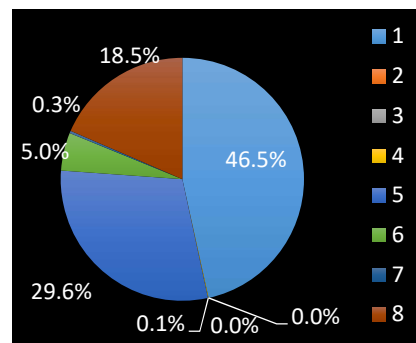
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

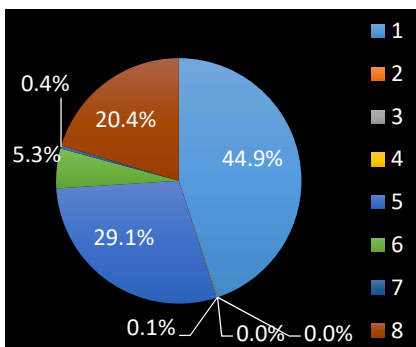
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	11,647TJ	21	44	1	47.6%
2 風力発電	0TJ	40	40	40	0.0%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	16TJ	46	47	46	0.1%
◎ 5 バイオマス発電	7,534TJ	3	24	2	30.8%
6 太陽熱利用	1,163TJ	8	38	1	4.8%
7 地熱利用	69TJ	32	42	25	0.3%
○ 8.バイオマス熱利用	4,047TJ	1	27	1	16.5%
合計(供給量)	24,475TJ	18			
再生可能エネルギー自給率			4.05%	再エネ自給率ランク 46	
食料自給率			1.4%	食料自給率ランク 46	
供給密度(TJ/km ²)			12.847	供給密度ランク 1	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				604,429TJ	
区域面積				1,905km ²	



2016年度 22,950TJ 対前年度比 109.0%



2015年度 21,049TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	泉南郡岬町	28.3%	1	豊中市	34.254	☆1	豊能郡能勢町	154.2%
2	豊能郡能勢町	19.2%	2	大阪市	30.442	2	南河内郡河南町	36.5%
3	南河内郡河南町	13.0%	3	泉大津市	27.843	3	南河内郡千早赤阪村	24.1%
4	柏原市	12.9%	4	八尾市	19.921	4	南河内郡太子町	11.5%
5	泉南市	11.4%	5	東大阪市	18.722	5	豊能郡豊能町	10.8%
6	豊能郡豊能町	11.0%	6	柏原市	18.208	6	岸和田市	9.0%
7	泉大津市	10.0%	7	堺市	17.614	7	泉佐野市	7.8%
8	南河内郡千早赤阪村	9.8%	8	茨木市	16.411	8	泉南市	7.5%
9	和泉市	9.2%	9	吹田市	15.853	9	泉南郡岬町	6.9%
10	泉南郡田尻町	9.2%	10	藤井寺市	14.912	10	富田林市	5.0%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

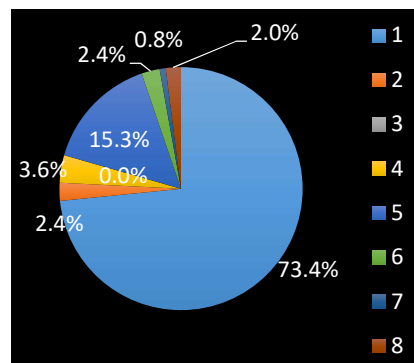
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

兵庫県

2017年度 35,647TJ 対前年度比 110.4%

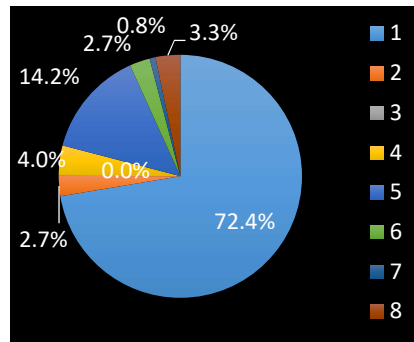


再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

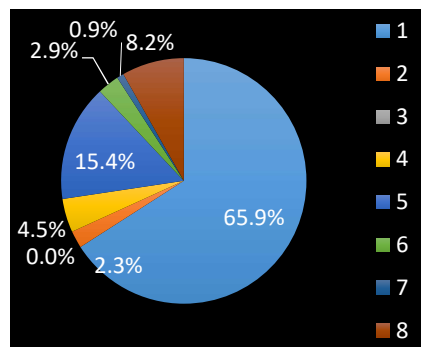
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 32,288TJ 対前年度比 113.0%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	26,164TJ	4	23	13	73.4%
2 風力発電	853TJ	20	27	25	2.4%
3 地熱発電	1TJ	11	13	12	0.0%
4 小水力発電	1,296TJ	32	38	38	3.6%
○ 5 バイオマス発電	5,462TJ	5	12	8	15.3%
6 太陽熱利用	867TJ	13	31	23	2.4%
7 地熱利用	277TJ	22	28	27	0.8%
8.バイオマス熱利用	727TJ	36	43	34	2.0%
合計(供給量)	35,647TJ	6			
再生可能エネルギー自給率			12.18%	再エネ自給率ランク 33	
食料自給率			14.7%	食料自給率ランク 40	
供給密度(TJ/km ²)			4.243	供給密度ランク 17	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				292,624TJ	
区域面積				8,401km ²	

2015年度 28,581TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	淡路市	110.4%	1	尼崎市	24.498	☆1	南あわじ市	129.2%
2	神崎郡神河町	93.5%	2	明石市	21.607	☆2	篠山市	103.8%
3	赤穂市	78.3%	3	高砂市	15.870	3	美方郡新温泉町	98.5%
4	佐用郡佐用町	71.0%	4	加古郡播磨町	15.738	4	佐用郡佐用町	84.8%
5	南あわじ市	60.3%	5	加古郡稲美町	14.811	5	加西市	84.7%
6	多可郡多可町	58.4%	6	赤穂市	14.760	6	丹波市	80.6%
7	宍粟市	57.3%	7	淡路市	13.633	7	加東市	80.0%
8	加西市	53.5%	8	西宮市	13.617	8	美方郡香美町	79.3%
9	丹波市	53.2%	9	伊丹市	10.248	9	豊岡市	73.0%
10	加東市	45.3%	10	小野市	9.947	10	淡路市	72.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

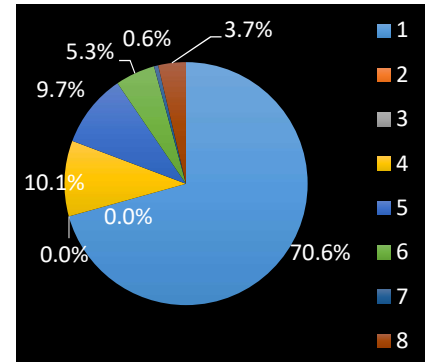
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

奈良県

2017年度 7,120TJ 対前年度比 108.6%

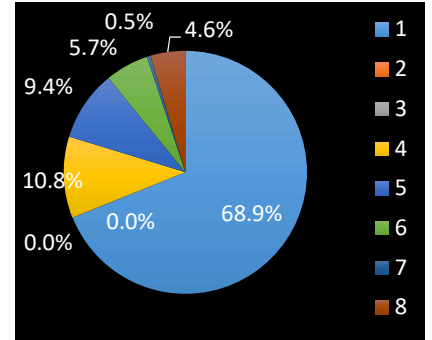


再生可能エネルギー供給状況

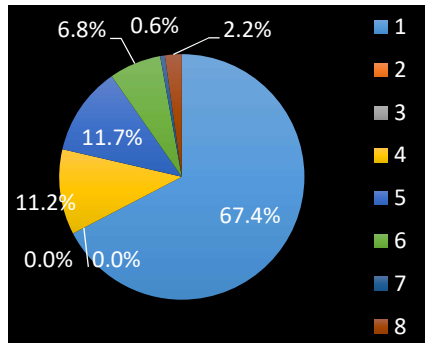
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 6,553TJ 対前年度比 121.9%



2015年度 5,378TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	5,030TJ	37	32	31	70.6%
2 風力発電	1TJ	39	39	39	0.0%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
○ 4 小水力発電	716TJ	39	31	32	10.1%
5 バイオマス発電	693TJ	38	37	31	9.7%
6 太陽熱利用	377TJ	32	25	25	5.3%
7 地熱利用	40TJ	39	33	37	0.6%
8 バイオマス熱利用	262TJ	44	40	39	3.7%
合計(供給量)	7,120TJ	45			
再生可能エネルギー自給率			8.81%	再エネ自給率ランク	41
食料自給率			13.2%	食料自給率ランク	41
供給密度(TJ/km ²)			1.929	供給密度ランク	40
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				80,770TJ	
区域面積				3,691km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	吉野郡上北山村	319.1%	1	吉野郡大淀町	16.770	☆1	宇陀郡御杖村	102.3%
2	吉野郡吉野町	85.1%	2	生駒郡安堵町	10.927	2	宇陀郡曾爾村	81.7%
3	吉野郡大淀町	61.9%	3	大和高田市	10.528	3	山辺郡山添村	71.0%
4	山辺郡山添村	31.3%	4	橿原市	10.349	4	五條市	66.6%
5	五條市	25.4%	5	北葛城郡王寺町	9.717	5	高市郡明日香村	63.5%
6	御所市	22.9%	6	香芝市	9.611	6	宇陀市	46.6%
7	宇陀市	19.5%	7	磯城郡三宅町	9.067	7	御所市	40.5%
8	吉野郡下市町	19.3%	8	磯城郡川西町	8.969	8	磯城郡田原本町	33.1%
9	高市郡高取町	16.7%	9	北葛城郡上牧町	8.502	9	磯城郡三宅町	31.6%
10	吉野郡天川村	15.3%	10	北葛城郡広陵町	8.037	10	高市郡高取町	30.0%

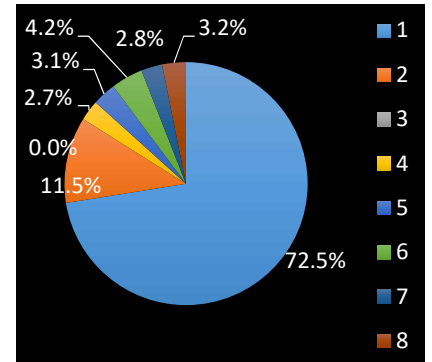
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

和歌山県

2017年度 9,445TJ 対前年度比 111.9%

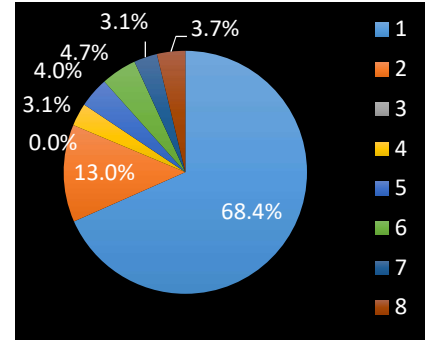


再生可能エネルギー供給状況

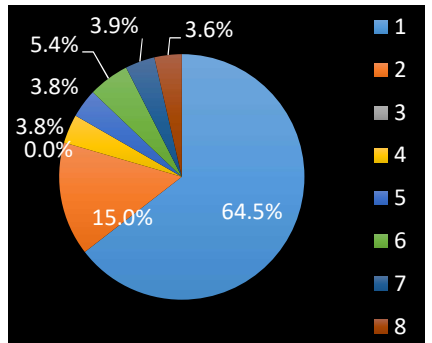
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 8,439TJ 対前年度比 123.5%



2015年度 6,836TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6,845TJ	31	17	29	72.5%
○ 2 風力発電	1,083TJ	18	16	16	11.5%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	258TJ	42	39	42	2.7%
5 バイオマス発電	295TJ	46	46	45	3.1%
6 太陽熱利用	401TJ	30	17	30	4.2%
7 地熱利用	265TJ	23	18	20	2.8%
8.バイオマス熱利用	299TJ	43	36	40	3.2%
合計(供給量)	9,445TJ	41			
再生可能エネルギー自給率			15.41%	再エネ自給率ランク	28
食料自給率			26.5%	食料自給率ランク	33
供給密度(TJ/km ²)			1.999	供給密度ランク	38
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				61,293TJ	
区域面積				4,725km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	日高郡日高川町	121.6%	1	有田市	15.873	☆1	日高郡みなべ町	134.8%
☆2	有田郡広川町	114.6%	2	和歌山市	10.445	2	日高郡日高町	95.1%
3	日高郡由良町	71.7%	3	岩出市	9.942	3	日高郡印南町	90.0%
4	西牟婁郡上富田町	50.3%	4	日高郡由良町	7.963	4	有田郡広川町	76.1%
5	日高郡印南町	41.8%	5	西牟婁郡上富田町	7.313	5	日高郡日高川町	74.4%
6	有田市	36.8%	6	日高郡美浜町	7.124	6	有田郡有田川町	71.5%
7	有田郡有田川町	35.6%	7	有田郡広川町	5.954	7	伊都郡かつらぎ町	65.5%
8	西牟婁郡すさみ町	33.9%	8	御坊市	5.222	8	紀の川市	57.9%
9	日高郡日高町	30.2%	9	紀の川市	3.770	9	伊都郡九度山町	48.3%
10	紀の川市	26.9%	10	有田郡湯浅町	2.900	10	日高郡由良町	45.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

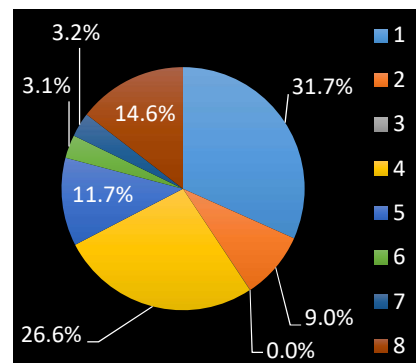
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鳥取県

2017年度 8,627TJ 対前年度比 103.8%



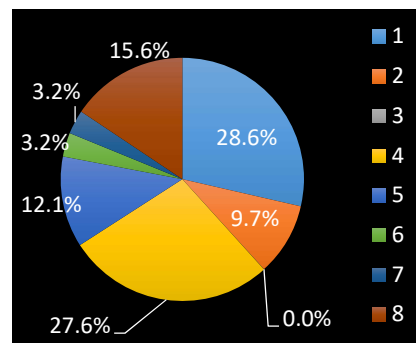
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

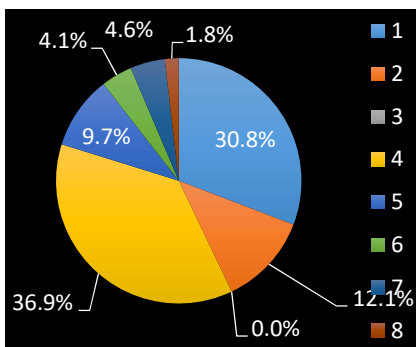
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	2,735TJ	43	26	37	31.7%
2 風力発電	776TJ	21	11	17	9.0%
3 地熱発電	1TJ	12	10	11	0.0%
◎ 4 小水力発電	2,299TJ	21	4	7	26.6%
○ 5 バイオマス発電	1,014TJ	33	6	17	11.7%
6 太陽熱利用	268TJ	36	11	32	3.1%
7 地熱利用	280TJ	21	7	13	3.2%
○ 8 バイオマス熱利用	1,256TJ	16	1	9	14.6%
合計(供給量)	8,627TJ	43			
再生可能エネルギー自給率			24.67%	再エネ自給率ランク 12	
食料自給率			58.5%	食料自給率ランク 16	
供給密度(TJ/km ²)			2.460	供給密度ランク 30	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				34,966TJ	
区域面積				3,507km ²	

2016年度 8,307TJ 対前年度比 135.7%



2015年度 6,123TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	八頭郡若桜町	129.7%	1	境港市	20.987	☆1	日野郡日南町	296.1%
☆2	西伯郡伯耆町	122.7%	2	米子市	9.542	☆2	日野郡江府町	180.9%
3	西伯郡大山町	91.8%	3	東伯郡北栄町	5.579	☆3	西伯郡大山町	157.8%
4	日野郡江府町	68.1%	4	西伯郡伯耆町	4.842	☆4	境港市	155.2%
5	八頭郡八頭町	61.9%	5	西伯郡大山町	3.635	☆5	東伯郡琴浦町	128.6%
6	東伯郡北栄町	46.7%	6	東伯郡湯梨浜町	2.798	☆6	東伯郡北栄町	116.6%
7	東伯郡琴浦町	41.1%	7	東伯郡琴浦町	2.547	☆7	西伯郡伯耆町	114.6%
8	東伯郡三朝町	39.1%	8	鳥取市	2.362	☆8	岩美郡岩美町	108.9%
9	境港市	30.1%	9	八頭郡八頭町	2.180	☆9	八頭郡八頭町	103.2%
10	八頭郡智頭町	29.7%	10	西伯郡日吉津村	2.140	10	日野郡日野町	95.8%

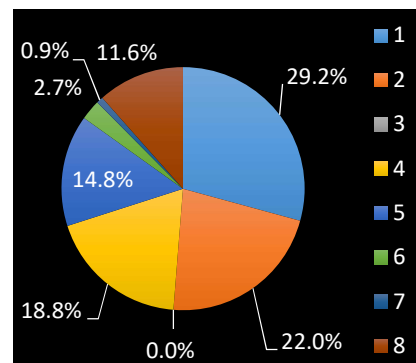
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

島根県

2017年度 11,700TJ 対前年度比 105.6%



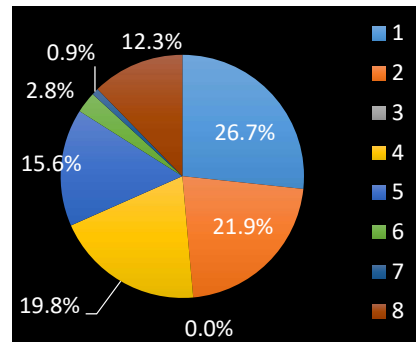
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

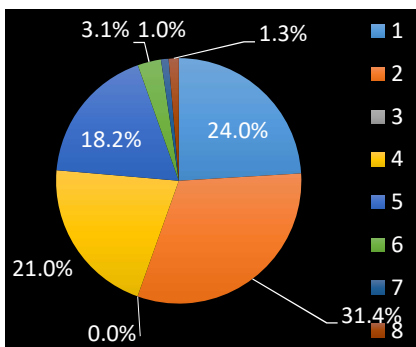
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	3,422TJ	41	27	41	29.2%
◎ 2 風力発電	2,574TJ	7	3	7	22.0%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
○ 4 小水力発電	2,200TJ	22	11	24	18.8%
○ 5 バイオマス発電	1,736TJ	23	3	22	14.8%
6 太陽熱利用	312TJ	35	14	36	2.7%
7 地熱利用	101TJ	31	25	34	0.9%
○ 8 バイオマス熱利用	1,355TJ	14	3	20	11.6%
合計(供給量)	11,700TJ	35			
再生可能エネルギー自給率			26.59%	再エネ自給率ランク 7	
食料自給率			62.1%	食料自給率ランク 14	
供給密度(TJ/km ²)			1.744	供給密度ランク 41	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				43,998TJ	
区域面積				6,708km ²	

2016年度 11,082TJ 対前年度比 117.0%



2015年度 9,473TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	江津市	139.7%	1	江津市	7.404	☆1	隠岐郡西ノ島町	865.3%
2	鹿足郡津和野町	75.7%	2	出雲市	3.432	☆2	隠岐郡隠岐の島町	393.9%
3	雲南市	57.3%	3	浜田市	2.502	☆3	飯石郡飯南町	294.9%
4	邑智郡美郷町	46.7%	4	松江市	2.351	☆4	仁多郡奥出雲町	201.0%
5	浜田市	43.9%	5	雲南市	1.996	☆5	邑智郡邑南町	184.0%
6	隠岐郡海士町	26.1%	6	隠岐郡海士町	1.264	☆6	鹿足郡吉賀町	142.4%
7	益田市	23.2%	7	鹿足郡津和野町	1.154	☆7	安来市	100.4%
8	鹿足郡吉賀町	21.4%	8	益田市	0.956	8	邑智郡美郷町	90.8%
9	出雲市	21.1%	9	安来市	0.771	9	鹿足郡津和野町	87.7%
10	安来市	16.9%	10	大田市	0.546	10	大田市	82.9%

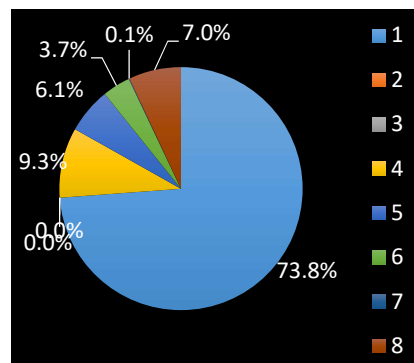
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岡山県

2017年度 20,774TJ 対前年度比 107.3%



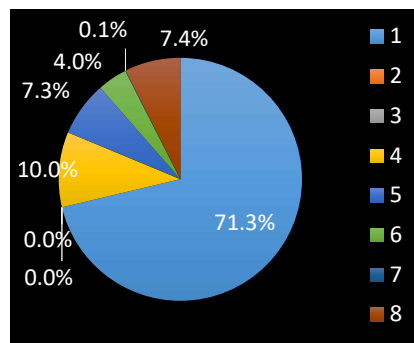
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

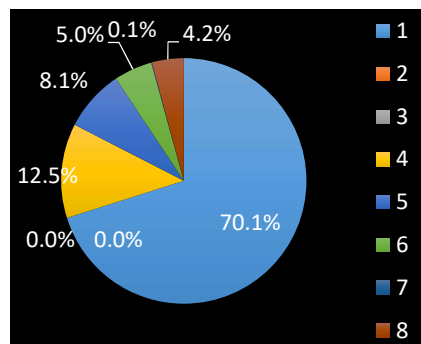
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	15,334TJ	12	10	17	73.8%
2 風力発電	0TJ	40	40	40	0.0%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	1,937TJ	25	26	27	9.3%
5 バイオマス発電	1,265TJ	28	28	33	6.1%
6 太陽熱利用	772TJ	16	15	22	3.7%
7 地熱利用	17TJ	43	40	43	0.1%
8.バイオマス熱利用	1,449TJ	12	14	18	7.0%
合計(供給量)	20,774TJ	24			
再生可能エネルギー自給率			18.91%	再エネ自給率ランク	21
食料自給率			34.4%	食料自給率ランク	27
供給密度(TJ/km ²)			2.923	供給密度ランク	21
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				109,839TJ	
区域面積				7,107km ²	

2016年度 19,369TJ 対前年度比 133.8%



2015年度 14,472TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	久米郡久米南町	189.9%	1	都窪郡早島町	16.167	☆1	岡山市	393.9%
☆2	苫田郡鏡野町	138.7%	2	倉敷市	8.493	☆2	真庭郡新庄村	212.1%
3	真庭市	88.0%	3	玉野市	7.664	☆3	加賀郡吉備中央町	193.4%
4	勝田郡奈義町	66.0%	4	浅口市	7.253	☆4	久米郡久米南町	169.9%
5	美作市	53.0%	5	浅口郡里庄町	7.227	☆5	勝田郡奈義町	156.8%
6	加賀郡吉備中央町	51.3%	6	久米郡久米南町	5.864	☆6	苫田郡鏡野町	155.0%
7	和気郡和気町	49.5%	7	岡山市	4.749	☆7	久米郡美咲町	149.1%
8	英田郡西栗倉村	44.2%	8	笠岡市	4.372	☆8	勝田郡勝央町	123.8%
9	高梁市	36.4%	9	瀬戸内市	3.318	☆9	美作市	100.1%
10	小田郡矢掛町	35.6%	10	勝田郡勝央町	3.142	10	真庭市	98.4%

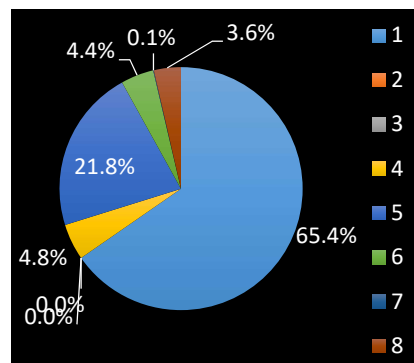
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

広島県

2017年度 21,556TJ 対前年度比 123.5%

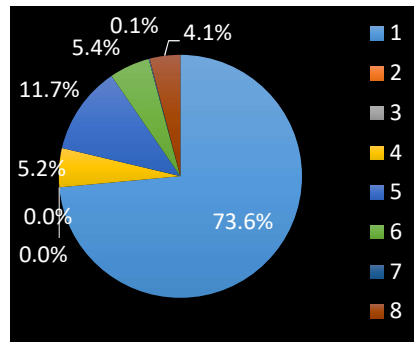


再生可能エネルギー供給状況

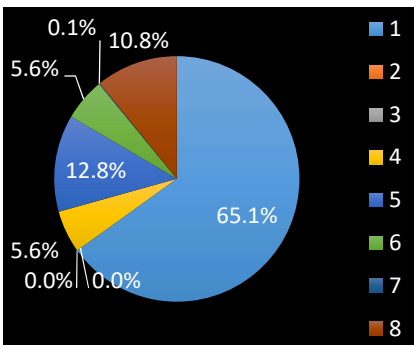
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 17,456TJ 対前年度比 111.7%



2015年度 15,628TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	14,090TJ	16	25	25	65.4%
2 風力発電	0TJ	40	40	40	0.0%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	1,034TJ	34	35	39	4.8%
◎ 5 バイオマス発電	4,692TJ	6	8	10	21.8%
6 太陽熱利用	942TJ	10	22	21	4.4%
7 地熱利用	22TJ	42	41	42	0.1%
8.バイオマス熱利用	775TJ	35	37	32	3.6%
合計(供給量)	21,556TJ	23			
再生可能エネルギー自給率			12.43%	再エネ自給率ランク	32
食料自給率			20.6%	食料自給率ランク	36
供給密度(TJ/km ²)			2.542	供給密度ランク	27
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				173,367TJ	
区域面積				8,480km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	山県郡北広島町	71.8%	1	安芸郡府中町	20.880	☆1	世羅郡世羅町	275.0%
2	神石郡神石高原町	59.4%	2	呉市	15.180	☆2	山県郡北広島町	217.7%
3	世羅郡世羅町	43.1%	3	安芸郡熊野町	6.350	☆3	庄原市	205.4%
4	庄原市	41.8%	4	福山市	5.369	☆4	神石郡神石高原町	175.6%
5	安芸高田市	41.4%	5	豊田郡大崎上島町	3.947	☆5	安芸高田市	164.0%
6	呉市	37.5%	6	尾道市	3.752	☆6	三次市	126.5%
7	三次市	36.7%	7	東広島市	3.729	☆7	江田島市	112.8%
8	豊田郡大崎上島町	34.5%	8	安芸郡海田町	3.410	8	山県郡安芸太田町	69.0%
9	廿日市市	24.1%	9	廿日市市	2.904	9	三原市	48.2%
10	安芸郡熊野町	21.9%	10	広島市	2.675	10	東広島市	37.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

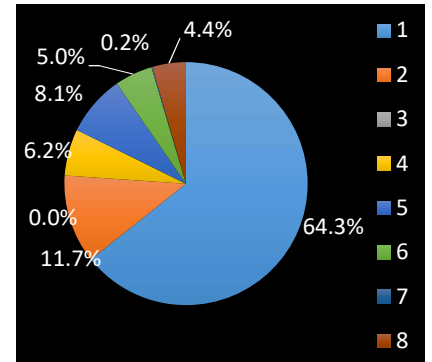
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山口県

2017年度 15,328TJ 対前年度比 95.4%

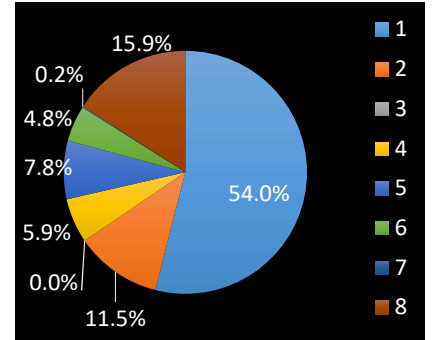


再生可能エネルギー供給状況

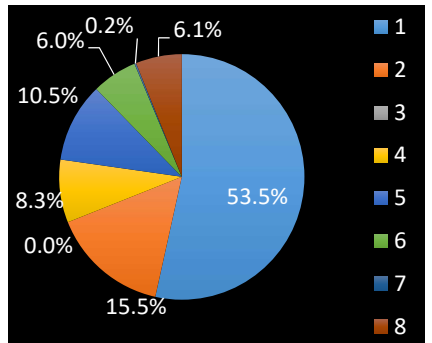
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 16,067TJ 対前年度比 142.9%



2015年度 11,242TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	9,861TJ	23	16	26	64.3%
○ 2 風力発電	1,799TJ	12	12	10	11.7%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	954TJ	37	29	37	6.2%
5 バイオマス発電	1,239TJ	29	19	27	8.1%
6 太陽熱利用	770TJ	17	7	16	5.0%
7 地熱利用	26TJ	41	36	41	0.2%
8.バイオマス熱利用	681TJ	38	25	30	4.4%
合計(供給量)	15,328TJ	30			
再生可能エネルギー自給率			17.51%	再エネ自給率ランク	23
食料自給率			29.9%	食料自給率ランク	31
供給密度(TJ/km ²)			2.508	供給密度ランク	28
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				87,557TJ	
区域面積				6,113km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	熊毛郡平生町	82.9%	1	熊毛郡平生町	15.213	☆1	阿武郡阿武町	210.3%
2	山陽小野田市	31.5%	2	山陽小野田市	8.058	☆2	美祢市	126.1%
3	熊毛郡田布施町	29.5%	3	防府市	6.173	3	長門市	82.2%
4	美祢市	25.8%	4	宇部市	5.956	4	萩市	81.9%
5	大島郡周防大島町	21.3%	5	下松市	5.255	5	山口市	51.1%
6	萩市	19.6%	6	下関市	4.695	6	大島郡周防大島町	40.3%
7	岩国市	19.5%	7	光市	4.558	7	柳井市	38.9%
8	下関市	19.4%	8	熊毛郡田布施町	4.124	8	熊毛郡田布施町	30.3%
9	長門市	18.7%	9	柳井市	2.347	9	下関市	28.6%
10	防府市	17.0%	10	岩国市	1.799	10	山陽小野田市	22.9%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

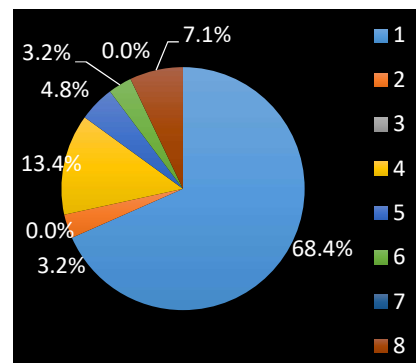
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

徳島県

2017年度 11,035TJ 対前年度比 106.8%

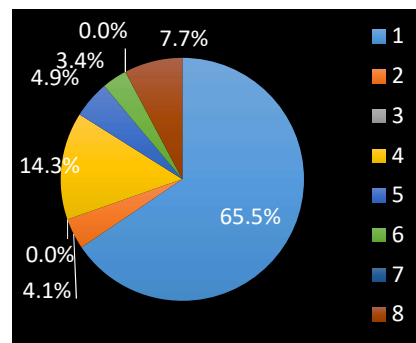


再生可能エネルギー供給状況

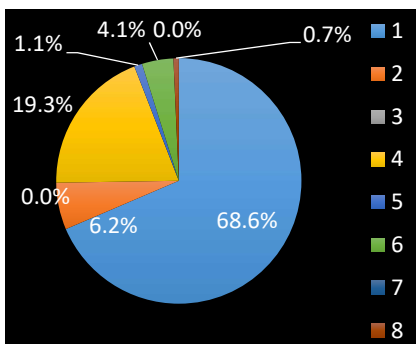
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 10,329TJ 対前年度比 134.7%



2015年度 7,669TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	7,544TJ	30	7	22	68.4%
2 風力発電	352TJ	28	21	26	3.2%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
○ 4 小水力発電	1,481TJ	29	18	23	13.4%
5 バイオマス発電	525TJ	43	29	39	4.8%
6 太陽熱利用	349TJ	33	12	31	3.2%
7 地熱利用	0TJ	46	46	47	0.0%
8.バイオマス熱利用	784TJ	34	9	24	7.1%
合計(供給量)	11,035TJ	37			
再生可能エネルギー自給率			23.74%	再エネ自給率ランク	14
食料自給率			39.5%	食料自給率ランク	25
供給密度(TJ/km ²)			2.661	供給密度ランク	24
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				46,489TJ	
区域面積				4,147km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	名東郡佐那河内村	384.6%	1	小松島市	14.336	☆1	阿波市	122.6%
2	三好市	94.0%	2	板野郡北島町	14.024	2	板野郡上板町	80.5%
3	阿波市	80.2%	3	板野郡松茂町	10.735	3	海部郡海陽町	76.7%
4	板野郡上板町	49.7%	4	板野郡藍住町	9.923	4	勝浦郡勝浦町	76.7%
5	那賀郡那賀町	41.4%	5	名東郡佐那河内村	8.660	5	名東郡佐那河内村	74.4%
6	美馬市	39.6%	6	板野郡上板町	8.005	6	阿南市	63.4%
7	阿南市	37.2%	7	名西郡石井町	7.348	7	板野郡板野町	59.5%
8	美馬郡つるぎ町	36.3%	8	徳島市	6.898	8	鳴門市	58.5%
9	小松島市	28.3%	9	阿波市	6.814	9	小松島市	54.5%
10	板野郡板野町	25.5%	10	鳴門市	5.577	10	美馬市	49.7%

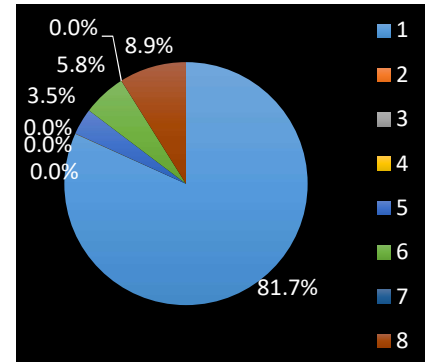
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

香川県

2017年度 10,322TJ 対前年度比 110.6%



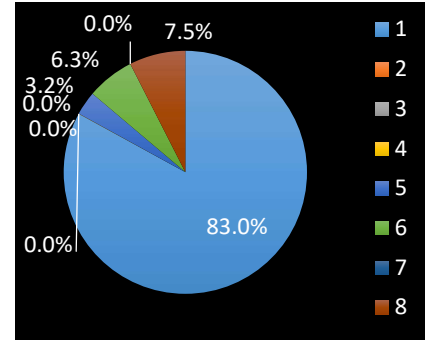
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

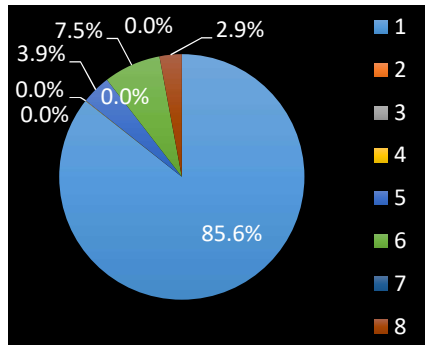
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8,438TJ	27	12	7	81.7%
2 風力発電	0TJ	40	40	40	0.0%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	3TJ	47	46	47	0.0%
5 バイオマス発電	363TJ	45	45	30	3.5%
6 太陽熱利用	595TJ	25	6	7	5.8%
7 地熱利用	0TJ	47	47	46	0.0%
8.バイオマス熱利用	923TJ	28	12	5	8.9%
合計(供給量)	10,322TJ	39			
再生可能エネルギー自給率			15.54%	再エネ自給率ランク 27	
食料自給率			32.6%	食料自給率ランク 29	
供給密度(TJ/km ²)			5.500	供給密度ランク 9	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				66,439TJ	
区域面積				1,877km ²	

2016年度 9,333TJ 対前年度比 130.4%



2015年度 7,158TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	仲多度郡まんのう町	49.1%	1	綾歌郡宇多津町	16.408	☆1	仲多度郡まんのう町	113.6%
2	三豊市	40.6%	2	坂出市	9.116	☆2	香川郡直島町	109.0%
3	綾歌郡綾川町	25.5%	3	丸亀市	8.124	3	綾歌郡綾川町	94.1%
4	さぬき市	25.4%	4	高松市	7.637	4	観音寺市	67.4%
5	坂出市	23.3%	5	仲多度郡多度津町	7.199	5	三豊市	64.8%
6	観音寺市	23.2%	6	観音寺市	7.179	6	東かがわ市	59.3%
7	東かがわ市	20.7%	7	善通寺市	6.556	7	さぬき市	56.8%
8	木田郡三木町	18.0%	8	三豊市	5.953	8	木田郡三木町	54.5%
9	小豆郡小豆島町	16.3%	9	仲多度郡琴平町	5.826	9	善通寺市	35.2%
10	仲多度郡多度津町	14.4%	10	さぬき市	4.483	10	仲多度郡琴平町	33.2%

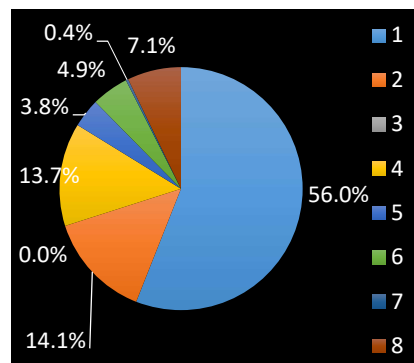
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

愛媛県

2017年度 15,220TJ 対前年度比 105.6%



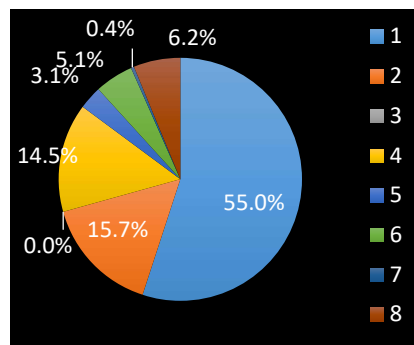
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

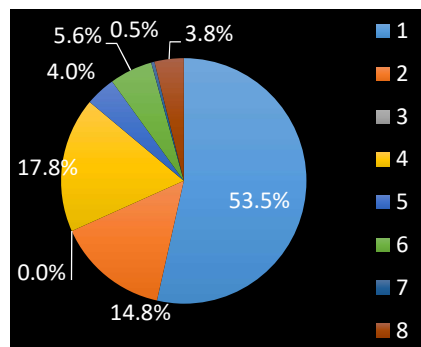
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8,526TJ	26	22	28	56.0%
○ 2 風力発電	2,138TJ	10	10	8	14.1%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
○ 4 小水力発電	2,089TJ	24	23	20	13.7%
5 バイオマス発電	582TJ	42	42	42	3.8%
6 太陽熱利用	745TJ	19	8	15	4.9%
7 地熱利用	54TJ	37	32	38	0.4%
8.バイオマス熱利用	1,086TJ	19	17	23	7.1%
合計(供給量)	15,220TJ	31			
再生可能エネルギー自給率			17.94%	再エネ自給率ランク	22
食料自給率			33.1%	食料自給率ランク	28
供給密度(TJ/km ²)			2.681	供給密度ランク	23
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				84,861TJ	
区域面積				5,676km ²	

2016年度 14,410TJ 対前年度比 123.9%



2015年度 11,632TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西宇和郡伊方町	255.3%	1	西宇和郡伊方町	16.224	☆1	南宇和郡愛南町	262.0%
☆2	上浮穴郡久万高原町	143.3%	2	伊予郡松前町	11.362	☆2	北宇和郡松野町	117.3%
3	西条市	43.7%	3	松山市	7.704	☆3	西予市	114.9%
4	北宇和郡松野町	26.3%	4	西条市	5.095	☆4	上浮穴郡久万高原町	108.8%
5	北宇和郡鬼北町	20.4%	5	今治市	3.704	☆5	北宇和郡鬼北町	104.1%
6	宇和島市	19.7%	6	新居浜市	3.531	6	西宇和郡伊方町	93.3%
7	南宇和郡愛南町	19.7%	7	宇和島市	2.037	7	宇和島市	90.3%
8	大洲市	19.1%	8	上浮穴郡久万高原町	1.777	8	西条市	64.2%
9	今治市	17.0%	9	四国中央市	1.683	9	喜多郡内子町	64.0%
10	四国中央市	15.1%	10	越智郡上島町	1.609	10	八幡浜市	61.2%

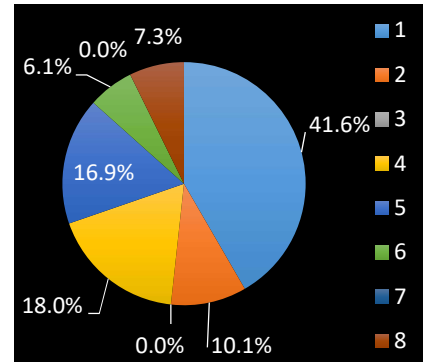
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

高知県

2017年度 11,977TJ 対前年度比 110.1%



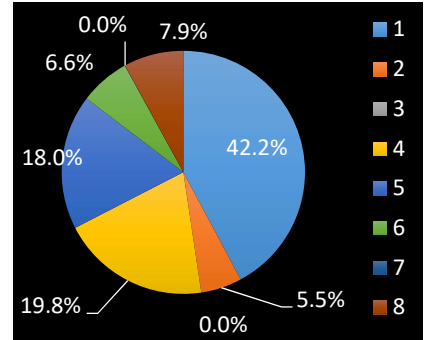
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

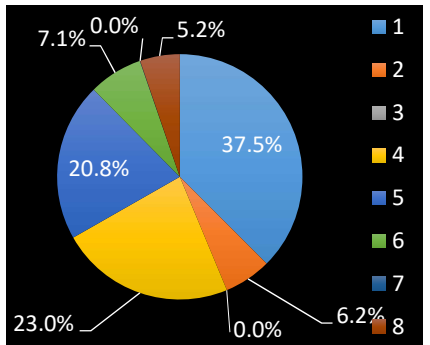
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	4,988TJ	38	15	38	41.6%
○ 2 風力発電	1,207TJ	17	6	19	10.1%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
○ 4 小水力発電	2,151TJ	23	10	26	18.0%
○ 5 バイオマス発電	2,028TJ	18	2	18	16.9%
6 太陽熱利用	728TJ	20	2	24	6.1%
7 地熱利用	4TJ	44	44	45	0.0%
8.バイオマス熱利用	872TJ	31	5	29	7.3%
合計(供給量)	11,977TJ	33			
再生可能エネルギー自給率			28.48%	再エネ自給率ランク 6	
食料自給率			39.9%	食料自給率ランク 24	
供給密度(TJ/km ²)			1.686	供給密度ランク 42	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				42,055TJ	
区域面積				7,104km ²	

2016年度 10,874TJ 対前年度比 116.7%



2015年度 9,321TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	幡多郡大月町	324.4%	1	幡多郡大月町	9.432	☆1	幡多郡大月町	278.8%
☆2	吾川郡仁淀川町	221.7%	2	高知市	9.425	☆2	幡多郡三原村	201.5%
☆3	長岡郡大豊町	196.0%	3	土佐市	4.036	☆3	高岡郡四万十町	158.9%
☆4	高岡郡禰原町	142.2%	4	安芸郡芸西村	3.948	☆4	安芸郡北川村	144.7%
☆5	高岡郡津野町	106.7%	5	南国市	3.397	☆5	土佐郡土佐町	140.0%
6	香美市	96.2%	6	安芸郡田野町	3.187	☆6	安芸郡東洋町	133.9%
7	幡多郡三原村	60.9%	7	高岡郡日高村	2.671	☆7	幡多郡黒潮町	133.9%
8	宿毛市	56.2%	8	香美市	2.538	☆8	室戸市	113.1%
9	高岡郡日高村	50.0%	9	安芸郡奈半利町	2.495	☆9	安芸郡安田町	107.1%
10	安芸郡芸西村	49.3%	10	吾川郡仁淀川町	2.359	☆10	高岡郡中土佐町	107.0%

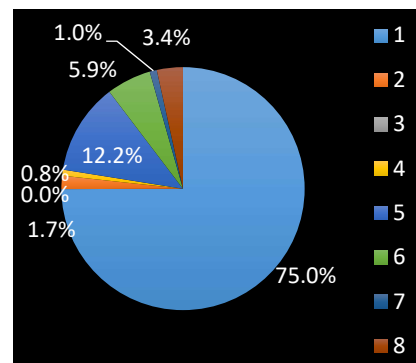
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福岡県

2017年度 31,944TJ 対前年度比 107.1%

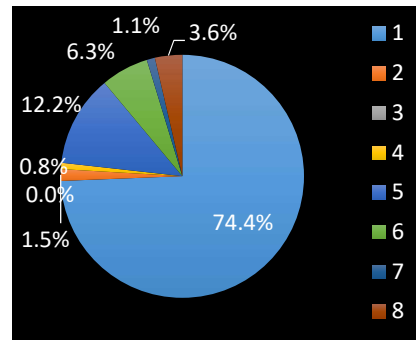


再生可能エネルギー供給状況

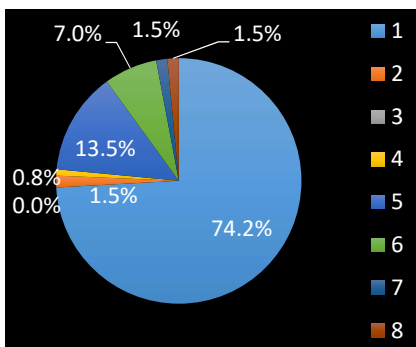
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 29,829TJ 対前年度比 129.8%



2015年度 22,977TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	23,946TJ	6	28	6	75.0%
2 風力発電	556TJ	23	29	23	1.7%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	258TJ	41	42	43	0.8%
○ 5 バイオマス発電	3,882TJ	10	25	7	12.2%
6 太陽熱利用	1,894TJ	2	21	6	5.9%
7 地熱利用	305TJ	20	27	19	1.0%
8.バイオマス熱利用	1,102TJ	18	39	16	3.4%
合計(供給量)	31,944TJ	9			
再生可能エネルギー自給率			10.22%	再エネ自給率ランク 36	
食料自給率			19.0%	食料自給率ランク 37	
供給密度(TJ/km ²)			6.230	供給密度ランク 8	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				312,523TJ	
区域面積				5,127km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	田川郡赤村	96.3%	1	春日市	43.943	☆1	築上郡上毛町	166.3%
2	田川郡川崎町	74.6%	2	田川郡川崎町	17.994	☆2	朝倉郡筑前町	147.3%
3	田川郡大任町	61.0%	3	田川郡糸田町	17.507	☆3	三井郡大刀洗町	129.8%
4	築上郡上毛町	59.4%	4	大牟田市	16.516	☆4	柳川市	126.5%
5	宮若市	54.0%	5	鞍手郡小竹町	13.374	☆5	田川郡赤村	125.4%
6	鞍手郡小竹町	52.7%	6	筑後市	12.434	☆6	三潁郡大木町	115.4%
7	嘉麻市	52.3%	7	糟屋郡志免町	11.703	☆7	京都郡みやこ町	114.7%
8	田川郡添田町	40.9%	8	北九州市	11.675	☆8	朝倉市	109.3%
9	朝倉郡東峰村	39.6%	9	嘉穂郡桂川町	10.972	☆9	築上郡築上町	108.4%
10	嘉穂郡桂川町	39.3%	10	田川郡大任町	10.907	10	うきは市	88.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

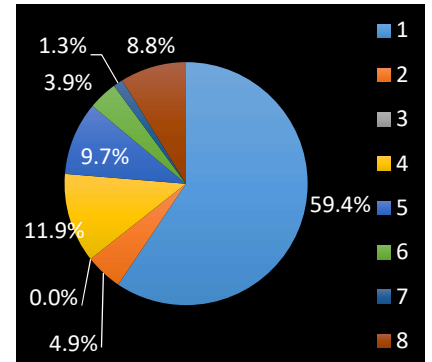
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

佐賀県

2017年度 11,415TJ 対前年度比 104.7%

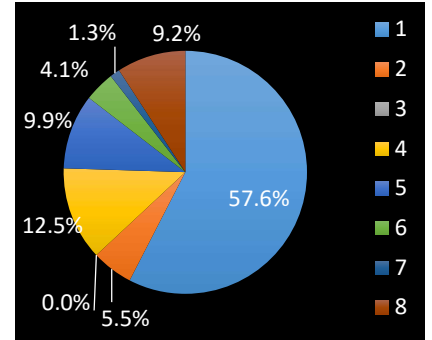


再生可能エネルギー供給状況

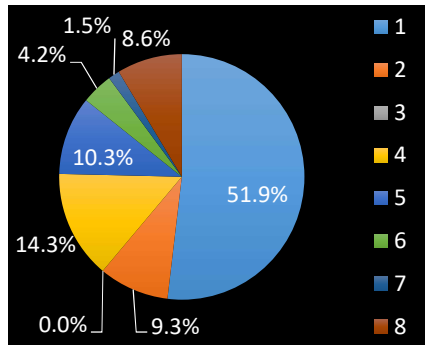
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 10,907TJ 対前年度比 115.2%



2015年度 9,464TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6,782TJ	32	13	15	59.4%
2 風力発電	563TJ	22	18	15	4.9%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
○ 4 小水力発電	1,363TJ	31	22	13	11.9%
5 バイオマス発電	1,111TJ	31	11	12	9.7%
6 太陽熱利用	445TJ	29	9	10	3.9%
7 地熱利用	146TJ	30	24	18	1.3%
8.バイオマス熱利用	1,005TJ	24	7	7	8.8%
合計(供給量)	11,415TJ	36			
再生可能エネルギー自給率			21.12%	再エネ自給率ランク	20
食料自給率			88.5%	食料自給率ランク	7
供給密度(TJ/km ²)			4.677	供給密度ランク	15
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				54,053TJ	
区域面積				2,441km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	東松浦郡玄海町	52.5%	1	三養基郡上峰町	12.015	☆1	杵島郡白石町	415.7%
2	伊万里市	45.7%	2	杵島郡大町	7.812	☆2	杵島郡江北町	190.9%
3	藤津郡太良町	39.6%	3	佐賀市	7.168	☆3	神崎市	177.0%
4	神崎市	39.3%	4	鳥栖市	7.034	☆4	藤津郡太良町	166.7%
5	多久市	30.5%	5	伊万里市	6.608	☆5	小城市	155.1%
6	三養基郡上峰町	29.2%	6	三養基郡みやき町	5.815	☆6	三養基郡みやき町	143.0%
7	嬉野市	29.1%	7	東松浦郡玄海町	5.731	☆7	東松浦郡玄海町	141.6%
8	唐津市	23.7%	8	神崎市	5.281	☆8	鹿島市	101.3%
9	杵島郡大町	23.7%	9	三養基郡基山町	5.174	9	三養基郡上峰町	96.4%
10	三養基郡みやき町	22.4%	10	嬉野市	3.920	10	神埼郡吉野ヶ里町	87.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

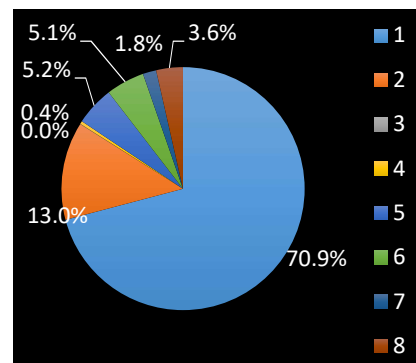
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長崎県

2017年度 12,617TJ 対前年度比 104.5%

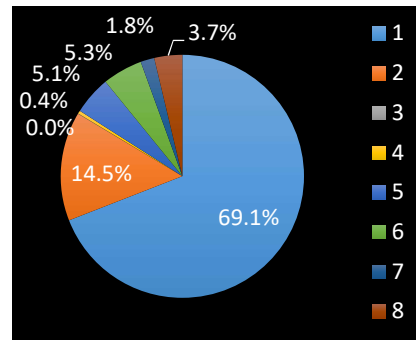


再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

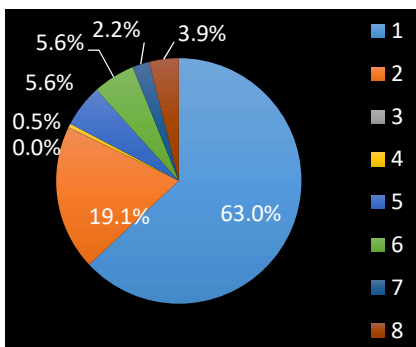
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 12,079TJ 対前年度比 120.0%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8,942TJ	25	18	16	70.9%
○ 2 風力発電	1,646TJ	14	13	6	13.0%
3 地熱発電	5TJ	9	9	9	0.0%
4 小水力発電	52TJ	44	43	44	0.4%
5 バイオマス発電	651TJ	40	39	34	5.2%
6 太陽熱利用	645TJ	23	10	13	5.1%
7 地熱利用	223TJ	24	23	21	1.8%
8 バイオマス熱利用	451TJ	40	33	31	3.6%
合計(供給量)	12,617TJ	32			
再生可能エネルギー自給率			15.64%	再エネ自給率ランク 26	
食料自給率			44.1%	食料自給率ランク 22	
供給密度(TJ/km ²)			3.054	供給密度ランク 20	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				80,657TJ	
区域面積				4,131km ²	

2015年度 10,062TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	平戸市	54.3%	1	西彼杵郡時津町	14.748	☆1	南松浦郡新上五島町	260.9%
2	五島市	41.7%	2	大村市	10.153	☆2	平戸市	260.7%
3	東彼杵郡東彼杵町	41.1%	3	島原市	5.193	☆3	雲仙市	173.5%
4	西海市	28.8%	4	北松浦郡佐々町	4.748	☆4	南島原市	116.4%
5	雲仙市	28.5%	5	佐世保市	4.642	5	北松浦郡小値賀町	94.5%
6	松浦市	26.2%	6	諫早市	4.640	6	松浦市	89.7%
7	南島原市	25.3%	7	西彼杵郡長与町	4.539	7	壱岐市	88.1%
8	大村市	25.0%	8	長崎市	4.374	8	五島市	78.6%
9	北松浦郡佐々町	23.4%	9	平戸市	3.968	9	東彼杵郡東彼杵町	75.5%
10	南松浦郡新上五島町	21.9%	10	南島原市	3.334	10	西海市	68.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

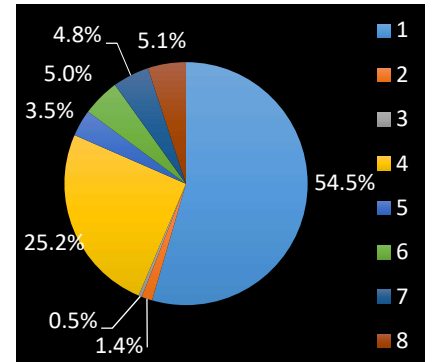
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

熊本県

2017年度 27,047TJ 対前年度比 105.7%

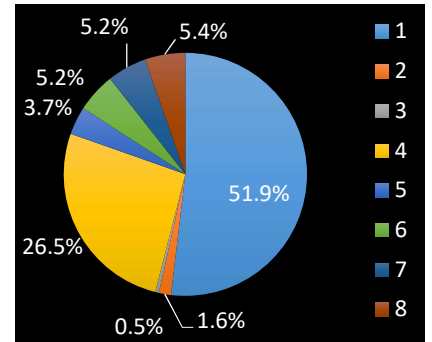
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

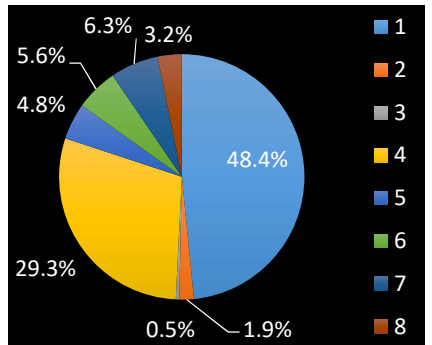


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 25,588TJ 対前年度比 120.8%



2015年度 21,177TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	14,739TJ	13	11	19	54.5%
2 風力発電	385TJ	27	24	27	1.4%
3 地熱発電	123TJ	7	7	7	0.5%
◎ 4 小水力発電	6,812TJ	5	5	5	25.2%
5 バイオマス発電	955TJ	34	35	37	3.5%
6 太陽熱利用	1,351TJ	7	3	8	5.0%
7 地熱利用	1,308TJ	6	5	4	4.8%
8.バイオマス熱利用	1,374TJ	13	16	22	5.1%
合計(供給量)	27,047TJ	15			
再生可能エネルギー自給率			25.22%	再エネ自給率ランク	9
食料自給率			52.8%	食料自給率ランク	18
供給密度(TJ/km ²)			3.791	供給密度ランク	19
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				107,251TJ	
区域面積				7,135km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	球磨郡五木村	1347.8%	1	熊本市	23.434	☆1	阿蘇郡産山村	230.4%
☆2	球磨郡水上村	828.8%	2	荒尾市	17.235	☆2	上益城郡山都町	197.0%
☆3	球磨郡相良村	266.6%	3	玉名郡長洲町	15.622	☆3	阿蘇郡南阿蘇村	179.5%
☆4	阿蘇郡小国町	189.7%	4	合志市	14.317	☆4	上益城郡嘉島町	174.0%
☆5	上益城郡山都町	170.6%	5	菊池郡大津町	13.027	☆5	阿蘇市	170.9%
☆6	球磨郡錦町	108.0%	6	上益城郡益城町	12.902	☆6	球磨郡あさぎり町	165.6%
7	阿蘇郡西原村	97.9%	7	菊池郡菊陽町	7.660	☆7	球磨郡湯前町	146.2%
8	阿蘇郡産山村	77.5%	8	球磨郡錦町	7.114	☆8	八代郡氷川町	144.9%
9	菊池郡大津町	68.7%	9	阿蘇郡小国町	6.579	☆9	球磨郡多良木町	143.3%
10	上益城郡甲佐町	68.4%	10	菊池市	6.495	☆10	球磨郡錦町	135.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

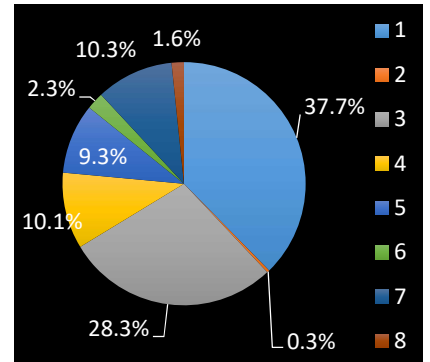
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大分県

2017年度 31,178TJ 対前年度比 102.3%

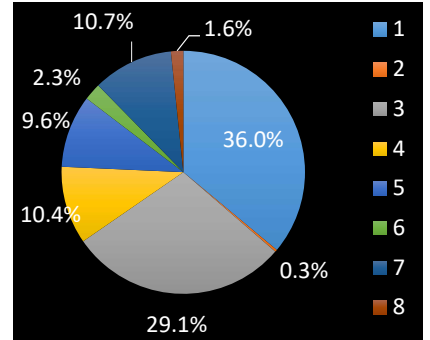


再生可能エネルギー供給状況

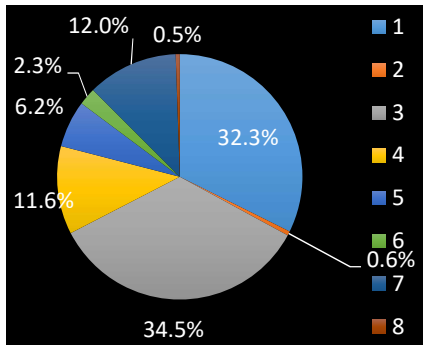
2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 30,476TJ 対前年度比 112.2%



2015年度 27,157TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	11,744TJ	20	8	21	37.7%
2 風力発電	100TJ	32	30	33	0.3%
◎ 3 地熱発電	8,830TJ	1	1	1	28.3%
○ 4 小水力発電	3,161TJ	15	14	14	10.1%
5 バイオマス発電	2,913TJ	14	4	11	9.3%
6 太陽熱利用	709TJ	22	4	20	2.3%
○ 7 地熱利用	3,212TJ	1	1	1	10.3%
8.バイオマス熱利用	509TJ	39	28	36	1.6%
合計(供給量)	31,178TJ	11			
再生可能エネルギー自給率			40.98%	再エネ自給率ランク	1
食料自給率			42.8%	食料自給率ランク	23
供給密度(TJ/km ²)			4.917	供給密度ランク	12
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				76,081TJ	
区域面積				6,341km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	玖珠郡九重町	1311.6%	1	玖珠郡九重町	36.005	☆1	竹田市	215.1%
☆2	豊後大野市	108.9%	2	別府市	17.557	☆2	宇佐市	153.6%
3	由布市	72.2%	3	速見郡日出町	10.604	☆3	玖珠郡九重町	150.2%
4	杵築市	62.3%	4	大分市	9.674	☆4	豊後大野市	140.6%
5	玖珠郡玖珠町	51.2%	5	由布市	6.678	☆5	国東市	112.1%
6	速見郡日出町	49.6%	6	豊後大野市	3.971	☆6	豊後高田市	103.3%
7	日田市	47.9%	7	杵築市	3.710	☆7	玖珠郡玖珠町	101.8%
8	国東市	39.3%	8	日田市	3.042	8	杵築市	97.2%
9	豊後高田市	37.6%	9	宇佐市	2.706	9	由布市	76.4%
10	宇佐市	35.7%	10	豊後高田市	2.464	10	佐伯市	59.6%

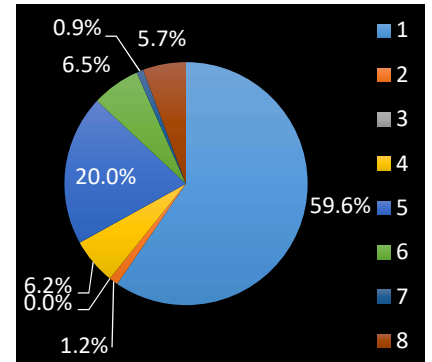
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮崎県

2017年度 22,496TJ 対前年度比 110.7%



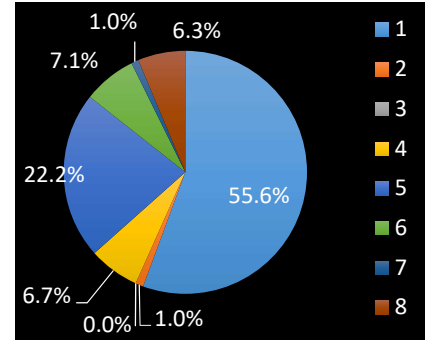
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

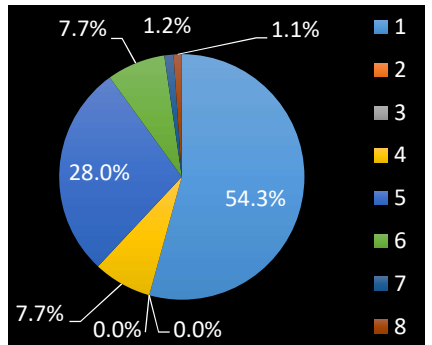
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13,399TJ	19	1	23	59.6%
2 風力発電	271TJ	29	23	29	1.2%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	1,391TJ	30	25	35	6.2%
○ 5 バイオマス発電	4,489TJ	8	1	9	20.0%
6 太陽熱利用	1,452TJ	4	1	9	6.5%
7 地熱利用	201TJ	26	21	32	0.9%
8.バイオマス熱利用	1,292TJ	15	6	25	5.7%
合計(供給量)	22,496TJ	21			
再生可能エネルギー自給率			34.25%	再エネ自給率ランク 4	
食料自給率			54.3%	食料自給率ランク 17	
供給密度(TJ/km ²)			2.908	供給密度ランク 22	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				65,675TJ	
区域面積				7,735km ²	

2016年度 20,326TJ 対前年度比 126.2%



2015年度 16,102TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	児湯郡西米良村	484.1%	1	児湯郡川南町	16.704	☆1	串間市	207.5%
☆2	西臼杵郡五ヶ瀬町	249.0%	2	児湯郡高鍋町	10.073	☆2	児湯郡川南町	188.9%
☆3	児湯郡川南町	180.7%	3	児湯郡都農町	7.756	☆3	児湯郡木城町	166.0%
☆4	児湯郡都農町	163.6%	4	東諸県郡国富町	7.493	☆4	東臼杵郡美郷町	161.5%
☆5	東諸県郡国富町	102.2%	5	児湯郡新富町	7.119	☆5	えびの市	160.5%
☆6	西臼杵郡日之影町	101.1%	6	宮崎市	6.672	☆6	児湯郡新富町	159.2%
7	日南市	71.0%	7	日向市	6.444	☆7	西都市	131.8%
8	日向市	63.0%	8	都城市	4.454	☆8	西諸県郡高原町	122.3%
9	東臼杵郡椎葉村	48.8%	9	日南市	4.026	☆9	児湯郡都農町	119.6%
10	児湯郡新富町	48.6%	10	北諸県郡三股町	3.006	☆10	西臼杵郡五ヶ瀬町	102.3%

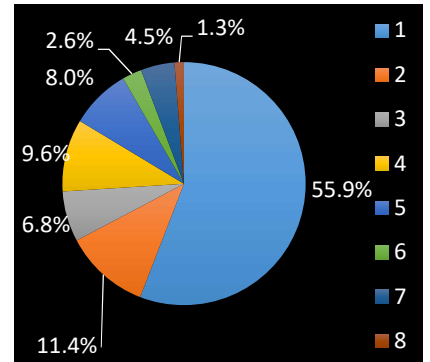
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鹿児島県

2017年度 35,026TJ 対前年度比 107.8%



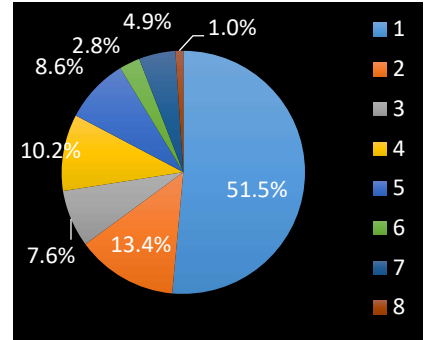
再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

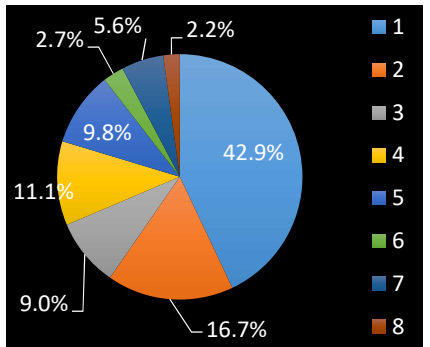
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	19,573TJ	10	2	18	55.9%
○ 2 風力発電	3,981TJ	4	4	5	11.4%
3 地熱発電	2,365TJ	4	4	3	6.8%
4 小水力発電	3,376TJ	13	16	21	9.6%
5 バイオマス発電	2,805TJ	15	7	14	8.0%
6 太陽熱利用	912TJ	12	5	26	2.6%
7 地熱利用	1,575TJ	5	3	6	4.5%
8.バイオマス熱利用	439TJ	41	38	44	1.3%
合計(供給量)	35,026TJ	7			
再生可能エネルギー自給率			34.92%	再エネ自給率ランク	2
食料自給率			74.3%	食料自給率ランク	8
供給密度(TJ/km ²)			3.813	供給密度ランク	18
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				100,314TJ	
区域面積				9,187km ²	

2016年度 32,485TJ 対前年度比 114.1%



2015年度 28,462TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	始良郡湧水町	190.1%	1	指宿市	13.592	☆1	大島郡天城町	721.9%
☆2	出水郡長島町	180.1%	2	霧島市	9.968	☆2	熊毛郡中種子町	687.7%
☆3	肝属郡南大隅町	154.9%	3	枕崎市	8.446	☆3	大島郡喜界町	585.3%
4	南さつま市	84.4%	4	出水郡長島町	8.061	☆4	大島郡知名町	557.8%
5	肝属郡肝付町	81.8%	5	始良郡湧水町	7.509	☆5	大島郡伊仙町	543.8%
6	霧島市	78.1%	6	鹿児島市	7.183	☆6	出水郡長島町	475.5%
7	薩摩郡さつま町	74.3%	7	いちき串木野市	6.311	☆7	熊毛郡南種子町	467.8%
8	南九州市	71.8%	8	鹿屋市	6.091	☆8	熊毛郡南種子町	467.8%
9	指宿市	69.0%	9	南さつま市	5.797	☆9	大島郡和泊町	409.0%
10	薩摩川内市	67.3%	10	薩摩川内市	5.378	☆10	曾於郡大崎町	321.1%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

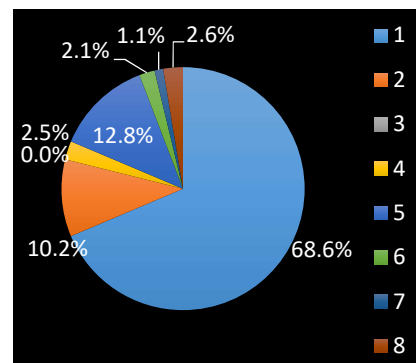
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

沖縄県

2017年度 5,276TJ 対前年度比 104.1%

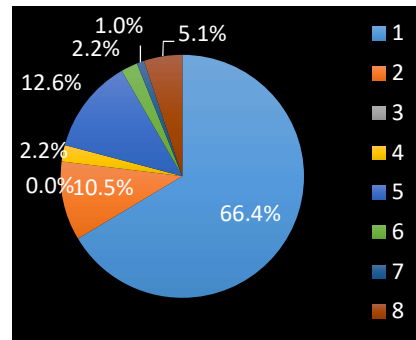


再生可能エネルギー供給状況

2018年3月末の設備状況をもとに2017年度について推計しました。

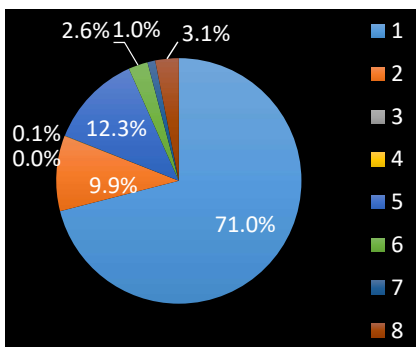
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2016年度 5,069TJ 対前年度比 112.5%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	3,621TJ	40	37	27	68.6%
○ 2 風力発電	541TJ	25	22	14	10.2%
3 地熱発電	0TJ	15	15	15	0.0%
4 小水力発電	130TJ	43	41	41	2.5%
○ 5 バイオマス発電	675TJ	39	38	16	12.8%
6 太陽熱利用	110TJ	42	40	35	2.1%
7 地熱利用	60TJ	35	31	31	1.1%
8.バイオマス熱利用	139TJ	46	46	41	2.6%
合計(供給量)	5,276TJ	47			
再生可能エネルギー自給率			6.37%	再エネ自給率ランク	43
食料自給率			30.1%	食料自給率ランク	30
供給密度(TJ/km ²)			2.313	供給密度ランク	34
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				82,762TJ	
区域面積				2,281km ²	

2015年度 4,507TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	国頭郡東村	135.3%	1	島尻郡南風原町	43.964	☆1	島尻郡南大東村	2240.6%
2	国頭郡大宜味村	80.1%	2	沖縄市	10.955	☆2	島尻郡北大東村	1644.0%
3	国頭郡伊江村	55.3%	3	宜野湾市	10.244	☆3	宮古郡多良間村	1101.3%
4	国頭郡国頭村	37.5%	4	うるま市	7.753	☆4	島尻郡伊是名村	747.3%
5	国頭郡今帰仁村	34.8%	5	浦添市	7.207	☆5	八重山郡竹富町	374.2%
6	国頭郡宜野座村	27.2%	6	豊見城市	7.003	☆6	島尻郡久米島町	361.8%
7	宮古郡多良間村	24.4%	7	糸満市	6.822	☆7	島尻郡伊平屋村	318.6%
8	島尻郡南風原町	21.6%	8	那覇市	5.914	☆8	宮古島市	295.2%
9	八重山郡与那国町	17.7%	9	島尻郡与那原町	5.452	☆9	島尻郡粟国村	137.3%
10	国頭郡本部町	16.8%	10	中頭郡北谷町	5.088	☆10	八重山郡与那国町	126.0%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。